



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成28年9月調査分)

## 《景気の現状判断DI》

	平成28年6月	平成28年9月	前回調査比
茨城県	43.3	<b>44.2</b>	+0.9
県北地域	42.7	42.5	△0.2
県央地域	40.9	50.0	+9.1
鹿行地域	46.1	42.1	△4.0
県南地域	48.3	43.8	△4.5
県西地域	38.2	42.5	+4.3

## 《景気の先行き判断DI》

	平成28年6月	平成28年9月	前回調査比
茨城県	47.5	<b>47.6</b>	+0.1
県北地域	46.1	48.7	+2.6
県央地域	53.9	49.2	△4.7
鹿行地域	46.4	49.6	+3.2
県南地域	48.7	47.5	△1.2
県西地域	41.8	43.0	+1.2

平成28年10月

茨城県企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

[http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukk  
a/watch/index.html](http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukk<br/>a/watch/index.html)

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

#### 【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	291 人	97.0%
県北地域	60 人	57 人	95.0%
県央地域	60 人	60 人	100.0%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	60 人	100.0%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

## 4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

## 5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成28年9月調査の調査期間は、平成28年9月1日から平成28年9月30日である。

## 6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$  となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは44.2となった。平成28年6月の調査（以下、「前回調査」という。）より0.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

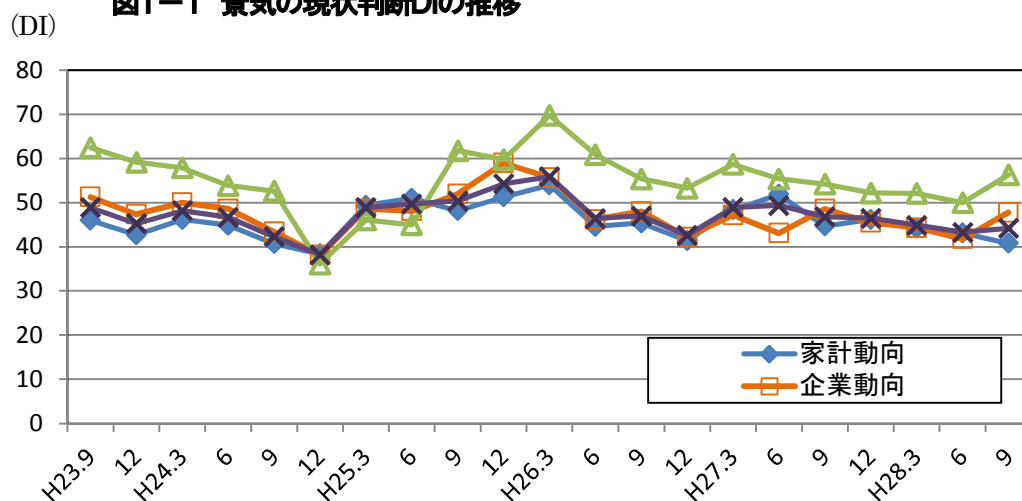
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月
<b>合 計</b>	<b>46.8</b>	<b>46.5</b>	<b>44.9</b>	<b>43.3</b>	<b>44.2</b>
<b>家計動向関連</b>	<b>44.7</b>	<b>46.2</b>	<b>44.2</b>	<b>43.1</b>	<b>40.8</b>
小売関連	49.1	46.2	40.7	39.8	39.6
飲食関連	38.5	39.6	40.2	44.8	37.5
サービス関連	42.4	47.2	46.6	44.2	42.0
住宅関連	53.1	56.3	55.6	52.8	47.2
<b>企業動向関連</b>	<b>48.6</b>	<b>45.5</b>	<b>44.3</b>	<b>41.8</b>	<b>47.8</b>
農林水産業	46.9	50.0	43.8	50.0	43.8
製造業	46.1	41.3	43.9	37.2	46.4
非製造業	52.1	50.0	45.0	46.4	50.7
<b>雇用関連</b>	<b>54.2</b>	<b>52.2</b>	<b>52.1</b>	<b>50.0</b>	<b>56.3</b>

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成27年 9月	1.5%	18.7%	52.1%	21.0%	6.7%
平成27年12月	0.7%	18.9%	53.1%	20.0%	7.3%
平成28年 3月	0.4%	17.7%	50.2%	24.7%	7.0%
平成28年 6月	0.7%	14.7%	50.0%	26.2%	8.4%
平成28年 9月	1.7%	13.7%	51.5%	25.8%	7.2%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(月)

## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは47.6となった。前回調査より0.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

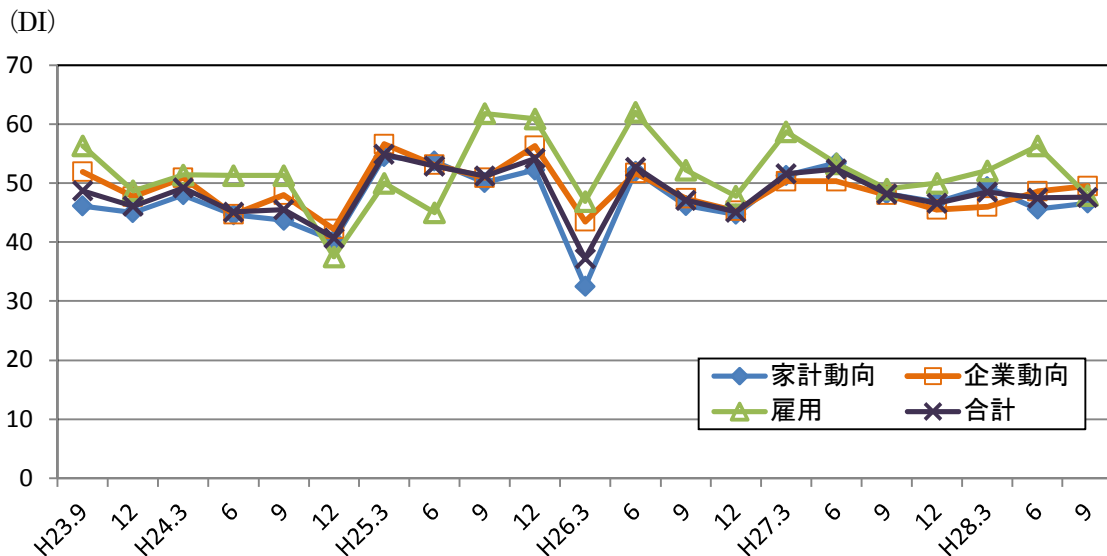
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月
<b>合計</b>		<b>48.2</b>	<b>46.6</b>	<b>48.5</b>	<b>47.5</b>	<b>47.6</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>48.2</b>	<b>46.8</b>	<b>49.4</b>	<b>45.6</b>	<b>46.6</b>
小売関連		47.2	45.8	47.2	43.4	45.4
飲食関連		44.8	49.0	45.7	51.0	56.3
サービス関連		51.1	46.9	51.7	45.8	44.9
住宅関連		40.6	46.9	52.8	44.4	44.4
<b>企業動向関連</b>		<b>48.0</b>	<b>45.5</b>	<b>46.0</b>	<b>48.6</b>	<b>49.5</b>
農林水産業		50.0	43.8	46.9	56.3	43.8
製造業		45.0	44.6	48.9	49.5	49.0
非製造業		51.4	47.1	42.1	45.7	51.4
<b>雇用関連</b>		<b>49.0</b>	<b>50.0</b>	<b>52.1</b>	<b>56.3</b>	<b>47.9</b>

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成27年 9月	0.7%	19.9%	55.1%	20.2%	4.1%
平成27年12月	0.4%	15.3%	59.6%	20.0%	4.7%
平成28年 3月	0.7%	18.5%	59.8%	16.2%	4.8%
平成28年 6月	1.8%	17.9%	54.7%	19.6%	6.0%
平成28年 9月	1.4%	19.2%	54.6%	17.9%	6.9%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



(月)

## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは42.5となった。前回調査より0.2ポイント低下し、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		42.0	46.3	44.9	42.7	42.5
家計動向関連		39.4	46.8	42.2	39.3	34.6
企業動向関連		43.4	44.7	47.2	47.4	53.9
雇用関連		56.3	50.0	56.3	50.0	56.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	1.8%	17.9%	41.1%	25.0%	14.3%
平成27年12月	0.0%	20.4%	50.0%	24.1%	5.6%
平成28年 3月	1.9%	16.7%	51.9%	18.5%	11.1%
平成28年 6月	0.0%	20.7%	41.4%	25.9%	12.1%
平成28年 9月	1.8%	17.5%	38.6%	33.3%	8.8%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは50.0となった。前回調査より9.1ポイント上昇し、横ばいを表す50となった。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		51.4	47.8	43.0	40.9	50.0
家計動向関連		47.1	46.6	42.4	42.6	45.5
企業動向関連		56.7	45.3	39.1	34.4	57.8
雇用関連		65.0	65.0	60.0	50.0	60.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	3.6%	25.5%	47.3%	20.0%	3.6%
平成27年12月	1.7%	19.0%	55.2%	17.2%	6.9%
平成28年 3月	0.0%	17.5%	45.6%	28.1%	8.8%
平成28年 6月	1.7%	8.6%	50.0%	31.0%	8.6%
平成28年 9月	6.7%	15.0%	55.0%	18.3%	5.0%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは42.1となった。前回調査より4.0ポイント低下し、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		48.6	48.2	45.8	46.1	42.1
	家計動向関連	46.8	47.0	48.4	47.7	41.9
	企業動向関連	51.3	50.0	41.7	42.1	40.3
	雇用関連	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	0.0%	14.5%	67.3%	16.4%	1.8%
平成27年12月	0.0%	17.9%	60.7%	17.9%	3.6%
平成28年 3月	0.0%	18.5%	51.9%	24.1%	5.6%
平成28年 6月	1.8%	7.0%	66.7%	22.8%	1.8%
平成28年 9月	0.0%	12.3%	54.4%	22.8%	10.5%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは43.8となった。前回調査より4.5ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		45.8	50.5	47.7	48.3	43.8
	家計動向関連	44.8	50.0	47.5	48.5	39.6
	企業動向関連	44.7	51.3	48.7	47.4	47.4
	雇用関連	55.0	50.0	45.0	50.0	60.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	1.9%	13.2%	54.7%	26.4%	3.8%
平成27年12月	1.9%	20.8%	56.6%	18.9%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	20.4%	51.9%	25.9%	1.9%
平成28年 6月	0.0%	24.1%	50.0%	20.7%	5.2%
平成28年 9月	0.0%	8.3%	63.3%	23.3%	5.0%



⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは42.5となった。前回調査より4.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

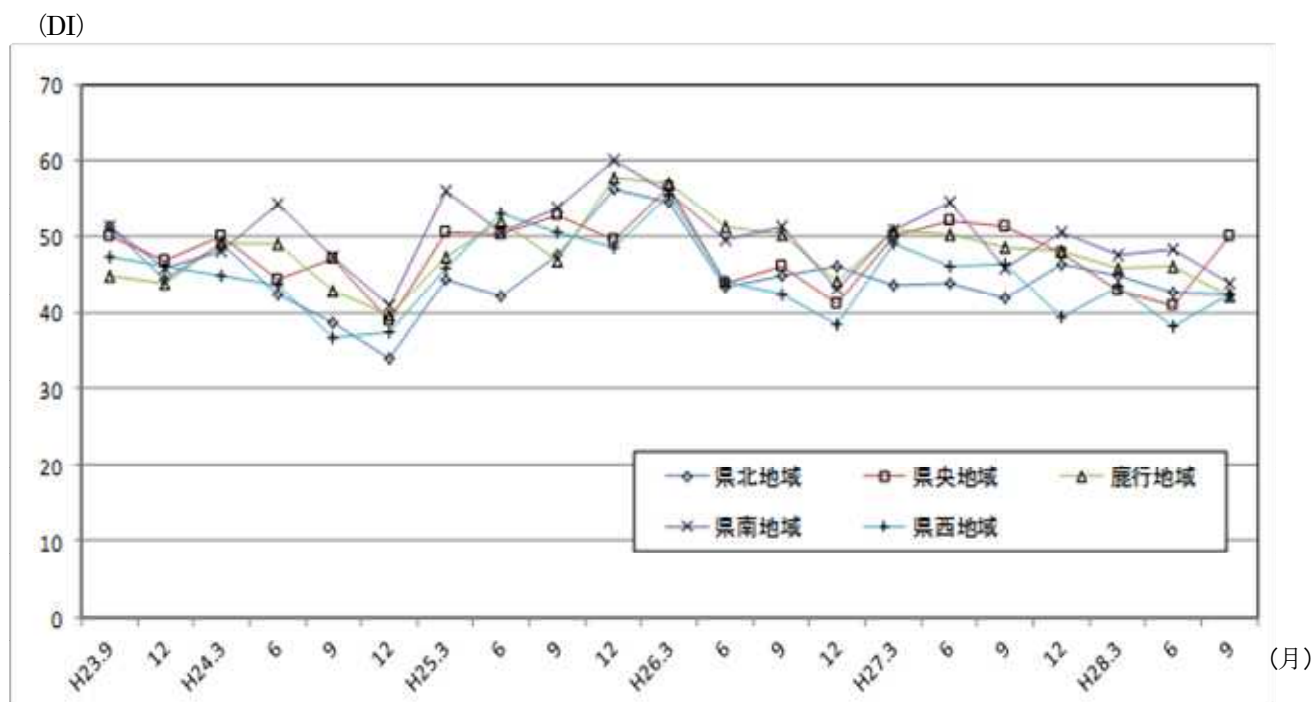
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		46.4	39.4	43.3	38.2	42.5
家計動向関連		45.4	40.6	40.8	37.1	41.7
企業動向関連		48.4	35.3	44.1	36.8	40.8
雇用関連		45.0	45.0	55.0	50.0	55.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	0.0%	22.9%	50.0%	16.7%	10.4%
平成27年12月	0.0%	16.7%	42.6%	22.2%	18.5%
平成28年 3月	0.0%	15.4%	50.0%	26.9%	7.7%
平成28年 6月	0.0%	12.7%	41.8%	30.9%	14.5%
平成28年 9月	0.0%	15.8%	45.6%	31.6%	7.0%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは48.7となった。前回調査より2.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		46.9	47.7	43.1	46.1	48.7
家計動向関連		47.7	48.4	43.0	41.4	47.8
企業動向関連		46.1	46.1	44.4	51.3	52.6
雇用関連		43.8	50.0	37.5	62.5	37.5

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	0.0%	17.9%	55.4%	23.2%	3.6%
平成27年12月	0.0%	16.7%	59.3%	22.2%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	18.5%	42.6%	31.5%	7.4%
平成28年 6月	0.0%	22.4%	51.7%	13.8%	12.1%
平成28年 9月	3.5%	21.1%	50.9%	15.8%	8.8%

### ② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは49.2となった。前回調査より4.7ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.5	46.1	51.3	53.9	49.2
家計動向関連		51.4	47.3	50.7	51.4	45.5
企業動向関連		46.7	39.1	51.6	59.4	57.8
雇用関連		55.0	60.0	55.0	55.0	50.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	0.0%	27.3%	50.9%	18.2%	3.6%
平成27年12月	1.7%	12.1%	58.6%	24.1%	3.4%
平成28年 3月	3.5%	15.8%	68.4%	7.0%	5.3%
平成28年 6月	6.9%	22.4%	53.4%	13.8%	3.4%
平成28年 9月	3.3%	20.0%	51.7%	20.0%	5.0%

### ③ 鹿行地域

3 か月先の景気の先行き判断DIは49.6となった。前回調査より3.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		48.6	48.2	48.1	46.4	49.6
	家計動向関連	47.6	49.2	50.8	47.7	50.0
	企業動向関連	50.0	45.8	43.1	40.8	48.6
	雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	1.8%	12.7%	67.3%	14.5%	3.6%
平成27年12月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%
平成28年 3月	0.0%	11.1%	74.1%	11.1%	3.7%
平成28年 6月	0.0%	12.5%	62.5%	23.2%	1.8%
平成28年 9月	0.0%	15.8%	71.9%	7.0%	5.3%

### ④ 県南地域

3 か月先の景気の先行き判断DIは47.5となった。前回調査より1.2ポイント低下し、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		48.1	49.1	49.1	48.7	47.5
	家計動向関連	47.4	48.3	50.0	45.6	46.5
	企業動向関連	47.4	50.0	46.1	51.3	50.0
	雇用関連	55.0	50.0	55.0	60.0	45.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	0.0%	17.0%	60.4%	20.8%	1.9%
平成27年12月	0.0%	20.8%	56.6%	20.8%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	20.4%	61.1%	13.0%	5.6%
平成28年 6月	1.7%	19.0%	53.4%	24.1%	1.7%
平成28年 9月	0.0%	18.3%	56.7%	21.7%	3.3%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは43.0となった。前回調査より1.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-19 景気の先行き判断DI

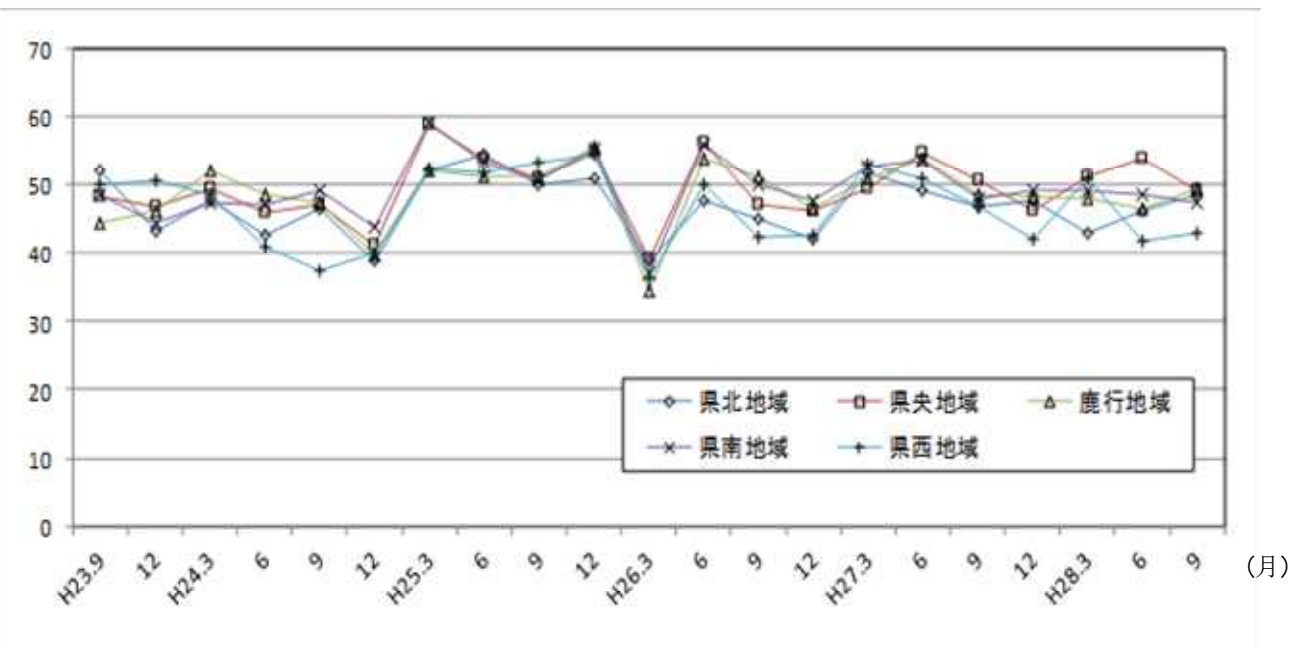
分野	調査月	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		46.9	42.1	51.0	41.8	43.0
家計動向関連		46.3	40.6	52.5	39.5	43.2
企業動向関連		50.0	45.6	45.6	42.1	39.5
雇用関連		40.0	40.0	60.0	55.0	55.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 9月	2.1%	25.0%	39.6%	25.0%	8.3%
平成27年12月	0.0%	13.0%	55.6%	18.5%	13.0%
平成28年 3月	0.0%	26.9%	51.9%	19.2%	1.9%
平成28年 6月	0.0%	12.7%	52.7%	23.6%	10.9%
平成28年 9月	0.0%	21.1%	42.1%	24.6%	12.3%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

(DI)



Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業 (精密機器)	景気は良くなっていないと思いますが、私の会社は新規受注を取ったために忙しくなっているだけです。全体的には車関係の海外比率は伸びています。
やや良くなっている	家計	スーパー	おいしい品物や新鮮な品物は、多少高くても売れる。新商品も高くても売れる。
		小売業 (弁当・惣菜店)	他地域ナンバーの車の来店客が増えた感触がある。人の流れが出てきたようだ。
	企業	製造業 (食料品)	高級品の注文が増加している。贈答品需要が増えている。
		製造業 (電気機械器具)	この時期、売上げが伸びるのは毎年のことではありますが、昨年と比較しても売上げの伸び率がやや良くなっているため、景気はやや良くなっていると判断します。
		製造業 (電気機械器具)	新モデルの生産開始により、売上げがアップした。
		製造業 (精密機器)	引き合い増。
		運輸業	輸送貨物の引き合いは相変わらず低調ですが、保管貨物の引き合いが増えているように感じます。
		運輸附带サービス業	部品の発注量が増えてきている。労働者派遣依頼が増えてきている。
	雇用	公共職業安定所	新規求人数及び有効求人数が増加傾向を示している。最近3か月では、「製造業」や「宿泊・飲食業」「生活関連サービス・娯楽業」で求人が増えている。(対前年同期比) 正社員求人数も増加している。
		学校就業関係者	<b>求人が断続的にある。</b>
変わらない	家計	コンビニエンスストア	特に単価の高い物が売れたりというようなことはない。1人当たりの購入点数も変化ない。
		農産物直売所	今まで通り。
		小売業 (時計)	高齢者の割合が多くなってきているので、収入との兼ね合いで期待はできない。
		観光型ホテル	宿泊予約、日帰り予約共に昨年同期と比較し、ほぼ横ばいの売上げを見込んでおり、景気は変わらないと判断する。
		旅行代理店	6月時点での売上げ予想と変化なし。
		タクシー運転手	お客様の様子からも、景気上向きの兆しが見られない。
		タクシー運転手	リオデジャネイロオリンピックも終わり、現在は同市でパラリンピック開催の真只中だが、地球の裏側の出来事だったのか、世の中、今一つ盛り上がり欠け、タクシーの方には少しも波及効果が感じられなかった。4年後の東京オリンピック開催時には期待を懸けたいところだが、今回は景気回復の起爆剤にもならなかったような気がします。そして普通の3か月が過ぎた感じです。
		レジャー施設	特に、3か月前と比較して変化がないように感じる。
		ゴルフ場	相変わらず若い方の来場は減っている気がする。客単価が伸びない。
		ゴルフ場	天候等の要因で、変わっているところを除けば、特段大きな変化はない。
		ボウリング場	団体利用の件数は、若干数減少したものの、利用人数に増加がみられたため、堅調な推移をしている。しかし、個人で利用されるお客様の動きは、依然として弱いものがあり、「目に見える・実感できる」景気の好転というものは、感じるができない。「東京五輪」での新競技候補として、話題になったものの、選外となってしまった影響は少なからずあると思われる。
		美容室	売上げや、費用対効果の結果。
		住宅販売会社	特に景気改善の話は聞こえてこない。

変 わ ら な い	企業	水産業関係者	変動は感じられない。
		製造業（電気機械器具）	目先の作業量は大変多いが、利益の薄いものであったり、クレームのための再生である。相変わらず、部署による作業量の差が激しい。
		製造業（食料品）	売上げも安定している。
		製造業（一般機械器具）	現場での製品の数に増減が見られない。
		金融業	大企業等の城下町であるため、親企業の業績に影響されますが、足許の受注は低位ながらも安定しているようである。
		不動産業	<b>相変わらず、収入が高くても不動産については「低予算」の方が多い。</b>
		情報通信業（情報サービス業）	3か月前と比較しても変化がない。
や や 悪 く な っ て い る	雇用	求人広告	需要はやや増えているが、時期的な要因を踏まえるともう少し増えてもよい感じがする。
	家計	商店街代表者	客単価がやや減少している。
		商店街代表者	今年の3月から特に8月まで売上げが昨年の60%程度となっている。
		コンビニエンスストア	<b>売上げが厳しくなっており、購買意欲が弱くなっているのではと感じます。セール品は売れますが、他は厳しい状況となっています。</b>
		衣料品販売店	お客様の来店数が少ない。
		自動車販売店	取扱いしているメーカーの問題があり、直接クレームは発生していないが購入を考える時にためらいがあると思われ、他メーカーに流れている。
		小売業（燃料）	燃料油以外の商品（オイル・洗車）の売上げが良くない。
		小売業（酒類）	景気も良くないところで、8月末の台風等の天候不順により、休店余儀ない状況であった。
		小売業（水産物）	来客者の減少。客単価の横ばい。
		スナック	ボーナス前連休があった3か月前と違って、お盆でお金を使った人が多いらしくお客様が少ない。
		食堂	ボーナスが入った家族は子供達の言いなりに注文して、パートの家族はボーナスが入っていないので子供と一緒に食べていて、両極端です。せめて家族の長だけは、正社員になれると良いと思う。長時間働いて、厚生年金もないところでは無年金者が出ると思う。
		観光型ホテル	夏が過ぎ、学校も始まり、消費は控えめになっていると思う。
		タクシー運転手	いろいろな災害等があり、お金を使うのを控えているようです。
		写真店	昨年に比べて来客数が減少している。特に、平日は核家族だけの来店や、母親とお子様だけに減少したため、撮影構成が少なく売上げも伸びていない。
企業	林業関係者	現状維持。二極化。	
	製造業（電気機械器具）	受注が取れなく今後低迷が続く予定。	
	製造業（化学工業）	顧客向けの売上げが鈍化している。	
	製造業（輸送用機械器具）	米国の景気悪化予想により円高傾向が続き、大手企業を中心に輸出収益が大幅に減少している。国内の自動車販売は依然ハイブリッド車や安全システムを搭載した新車を投入し、購買意欲を盛り立てようとしているが、厳しい状況（前年割れ）が継続している。海外では、中国市場が大幅な回復（前年比増）をしているが、北米はやや陰りが始めている状況。	
	建設業	お客様からは前向きな話が出ていない。見積り件数等も例年からは少なめである。	
雇用	求人開拓員	ホームセンター等、販売店訪問時、店長聞き取り時に、来店客数売上げ等の質問に対しての返答は、概ねダウンしていると話が出ます。一部スーパーでは競合等の出店もあるが、2割程の減少で売上げも影響を受けていると回答あり。	
悪 く な っ て い る	家計	居酒屋	来店客が少ない。
		中国料理店	<b>9月は異動などもあり、宴会が多いはずなのですが、今年は、少ないです。お客様のご注文も、主食のみが多いです。</b>
		ドライブイン	昨年度と同様の暑さがあったものの、3か月前と比較して客単価、客数も少ない。前年度と比較しても下回っている。
		ゴルフ場	8月の台風被害が大きく、来場者が落ち込み、計画比68%となる。9月の出足は平年並だが、10～12月の予約の流れが半減状況である。円高の影響で海外への旅行に切り替えるゴルファーがいると聞く。

## (2) 県央地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	割烹料理店	今月は稲刈り時期なので、田畑に囲まれた立地の当店の周りは3か月前よりも賑やかです。
		企業	農業関係者
	企業	製造業(金属製品)	仕事の量が急激に増えてきた。3か月前は60~70%程度だった稼働率も、現在はほぼ100%となっている。
		製造業(精密機械器具)	3か月前の売上げは、たまたまシフト売上げが発生し、その分落ち込みがありました。当社においては、シフトの売上げが最近多くなっています。
やや良くなっている	家計	自動車販売店	7月は店頭来店客が昨年より少なかったが、8月に入り良くなり、お盆明けからはここ数年で一番ぐらい、新車を検討する方の来店が増えた。
		旅行代理店	山の日の新たな祝日効果でお盆休みが少し長くなった気がする。その分消費も少し上向いた。
		タクシー運転手	今月は秋の行楽シーズンの時期であるが、それは毎年のことである。売上げについて今月の前年比と3か月前の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率がやや良くなっている、景気はやや良くなっていると判断する。
		観光名所	日本中でポケモンGOのブームが起こり、観光地や名所がポケモンの聖地となっているため、観光地である弊社も集客が増えております。しかし、売上げに直結しているわけではなく、依然消費動向は厳しいままです。外食や自動販売機は消費が伸びているので、経済の活性化の起爆剤となっているのは間違いありません。
	企業	製造業(窯業・土石製品)	以前から注文を頂いている工事が集中している。
		サービス業(広告業)	下期の広告予算は昨年同時期と比べて微増している。上期の業績が良かった企業が多いと思う。
		サービス業(コンサルタント業)	仕事の受注が増えている。
	雇用	公共職業安定所	新規求人倍率、8月2.10倍、有効求人倍率、8月1.35倍と高水準で推移している。
		求人開拓員	昨年度の求人件数及び新規登録者数を比べてみると、求人件数は102.2%と若干の伸び、新規登録者数は89.3%と減少しております。正規雇用の採用も増加傾向(122.5%)にあります。雇用情勢は少しずつ改善されております。
	変わらない	家計	商店街代表者
百貨店			9月中旬の途中状況であるが、3か月前と比べ今月の前年比の伸び率があまり変わっていない。
百貨店			お客様のお買物の仕方は引き続き慎重であることは変わっていない。現在使用できるものとの組合せを考えて商品を選んでいる方が多いようなので。
スーパー			客数・客単価はあまり変わらず。特売セールなどの競争が厳しくなりつつある。
スーパー			客数・供給前年比がほぼ横ばい。
スーパー			生鮮食品の天候不順による価格が上昇して販売点数が下落しているが、代替えとなる食品でカバーできているため変わらない。
コンビニエンスストア			直近で大きな変化のある会話等は何っていない
コンビニエンスストア			天候不順も含めてなのか、お客様の来店数が昨年より苦しいと感じます。また、お客様の一商品当たりの単価は低下傾向に感じる点から、今後は悪くなるように感じます。
小売業			5月・8月の空港ビル内のテナントの売上げを比較したところ、8月売上げは、5月売上げよりも、若干の「増」となっているが、この原因は、5月と比較して増えた8月の来場者増に起因したものと思慮される。
レストラン			オリンピック開催中はお客様の動きは鈍かったが、終了後は動きを取り戻した。しかし、台風がその後立て続けに発生したため、動きは止まってしまった。その分9月に入り天候は良くなかったが、動きは活発になった。景気には変化がみられなかった。
レストラン			特に変化なし。
都市型ホテル			宴会の打合せを行っているが、お客様に「最近はどうですか」などと話しておりますが、「変わらないね」との返答が多いようです。
都市型ホテル			予約状況は相変わらず回復していない。個人消費も伸びていない。
旅行会社			バス、ハイヤー共にお客様の利用が少ないです。
タクシー運転手			私の会社の近くでは新しい店舗が建設中です。しかし、タクシー業界には全く関係のない職種の店舗です。相変わらず22時以降はタクシーを利用する人がほとんどいないです。今後も低水準で推移すると思います。
タクシー会社	夕立等により一時的に利用率が上昇する日もあったが、トータル的に見ると、お客様の数、売上げに大きな変化がない。		
タクシー会社	市場の動向に大きな変化は見られないので、お客様の乗車率、運収等も変わらず推移している。		

変 わ ら な い	家計	ドライブイン	今年はとっも暑い夏で、冷たい外の自販機は、とっも売行きが良かった。しかし、店内の土産品物は客数も落ちて、売上げも低下。
		レジャー施設	夏前との比較として、酷暑となったこと・リオオリンピックと高校野球が重なったこともあり、昨年同月で入場者数が下回っているものの、近隣県からのお客様（ご家族や若者を中心）には変わらない状況です。駐車場の混雑状況や売店収入などみても、前年並みであることから夏前の客単価と変わらない推移となっている。
		ゴルフ場	悪天候の影響からか来場者数が3か月前と比較して220名減少。プレー予約に伸びが見られない。
		レジャー施設	新規契約も契約解除もない。
		理・美容店	6月頃は夏に向けて来客も増えたが、8月後半から現在は、8月は暇であったが9月に入って客数が増えている。敬老会もあるのだ。
		住宅販売会社	8月はお盆月ということもあり、例年来店数が減少するため、単純比較ができないが、特に大きな変化は見られない。
	企業	製造業(食料品)	<b>大手OEM受注数の減少が落ち着いたこと。台風影響の分、若干悪かった部分もあり。</b>
		製造業(印刷・同関連業)	受注量が減少している。
		建設業	変化感じられない。
		運輸業(道路貨物運送業)	運送数量がやや減少しており、稼働率が若干下がっている。
		金融業	全体的に売上高等が横ばいに推移している企業が多く、業況が好転している企業はあまり見受けられないと思われます。
		不動産業	賃借料、契約金が相場であっても決まらなくなっている。新築物件の空室が目立つ。
		情報通信業(情報サービス業)	国内では設備投資に動きがあると聞くと、顧客からは、あまり前向き話が出てこない。生じる商談も小規模に止まっており、期待は空振りの状況。景気は横ばい推移であったと感じている。
	雇用	人材派遣業	特に目立った受注増もない。
		求人広告	儲かっている話は聞かない。
学校就業関係者		企業の人事担当者との情報交換の中で、3か月前と変わったとの情報は聞けていない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	個人消費の来店客が前年より3割減で、販売額も減少している。会社、企業からの受注がほとんどなく、激しい状況が続いているので悪くなっている。
		スーパー	安い物しか買わない人が、増えている。特売品だけで、定番品が動きが良くない。
		農産物直売所	夏期の県外からの来場者数がやや減少した。夏期のこだわり商品(高額)の動きがやや悪くなった。
		レストラン	利用者が減少。
		観光型ホテル	夏休みのファミリーの動きが今一つ鈍かった。山の日ができたために前後が弱含みになったかもしれない。海水浴そのものの魅力も低下しているように思える。
		ゲームセンター	<b>7月後半にポケモンGOのリリースがあり、ただでさえスマホゲームに押されがちな状況に拍車がかかりました。特に客単価の高いフィギュアなどを狙うコアユーザーが減少しました。一時的なブームだと思われるので、ポケモン関連商品が入荷するころには遅く、繁忙期にダメージだけが残った印象です。</b>
	企業	スーパー銭湯	予想されていた暑い夏は、東日本ではどちらかと言えば例年より涼しく、不順な天候の日が多くなり、また、度重なる台風の通り道になったために、予想し、期待していた県内外客の海水浴客及びクールシェアを求めた来館者の増加見込みは、大きく予想が外れてしまった。今後も台風の季節本番に入るにより、景気は気分的に悪くなると思います。
		ペット美容室	季節的なものです。
		建築設計事務所	業務の取り止めや支払いの滞りが多くなっている。
		製造業(食料品)	前年超えない店舗が多い。
悪 く な っ て い る	家計	スーパー	ここ数か月の売上げは月を追うごとに悪化。特に8月の売上げは台風の影響もあり、記録的な減少であった。
		楽器販売	純粹に客足が遠のいている印象。売上げが上がらない。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	新規開拓のためにいろいろと施策しても売上げが下降している。



## (3) 鹿行地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント
良	ー	ー	ー
やや良くなっている	家計	小売業（食品）	直売所の売上げから見ると、わずかではあるが上がっているの、やや良くなっていると感じる。
		洋食食堂	8月は前年比98%でしたが、1月からのトータルで110%（前年比）としている。
		観光型ホテル	外国の団体が入ってきている。
		理・美容店	ゆるやかな物価上昇が感じられる。
		クリーニング店	9月は運動会・お彼岸・敬老の日など行事が多いので、来客数が多い。（秋祭り）
	企業	製造業（食料品）	商店街の購買力が出てきた様子。飲食店は今いち。
		保険業	農家の人達の収入が増えている。28年越光（コシヒカリ）12,500円、昨年27年は11,006円。
	変わらない	家計	商店街代表者
家電販売店			季節的な要因で8月は減少したが、その後、持ち直した。
小売業（菓子類）			3か月前の対前年比と今月の対前年比の売上げが、ほとんど同じである。
小売業			3か月前も景気の良さは感じられませんが、それから、改善されたようには思えませんので、変わらずとします。
観光型ホテル			3か月前と比較して、予約状況・予約内容に変動を感じない。
タクシー運転手			相変わらず仕事量が少ない。運転手も少なく、仕事が重なった場合受けられない。（辞める人が多い）
ドライブイン			9月は、雨など天候不順の影響があるため不安定な状況である。
ゴルフ場			予約状況により判断。
レジャー施設			変わらないと答えた理由といたしましては、日々の入客数や売上げ状況が横ばいである。
レジャー施設			来場者の消費行動からは少なくとも良くなっているのではないので、「変わらない」として判断したものの。
理・美容店			売上げで見ると、あまり変わらない。
住宅販売会社			例年、この時期は動きが鈍るため、それを割り引くとあまり変わらない状況。
住宅販売会社		特に変化がない。	
企業		製造業（電気機械器具）	特に変わらない。
		製造業（金属製品）	政府の統計発表より、製造業の業績は良くない。特に円高にふれた状況下では、発注減少となっている。
		建設業	<b>建設業、工務店、新築上棟が少ないです。特に、小さな工務店は仕事が受注できない。省エネ住宅など規制が厳しい面もあります。大手ハウスメーカーに、仕事を多く受注されています。ハウスメーカーの手伝いをしている工務店もあります。</b>
		運輸業（道路貨物運送業）	毎年2、8月は仕事量が少ないが、ここ数年7月も荷動きが鈍っている。全体的に個人消費の低迷により、静かな荷動きである。
	金融業	設備投資及び運転資金等の借入に対し、依然として慎重な姿勢は変わらず、3か月前と比較しても景気は変わらないと思います。	
	不動産業	テナント物件新築入居者数は少ないですが、コンスタントに入居利用者あり。	
	内装工事業	この先、前に進む道を探せず後退の道しかないのか模索している。	
火力発電所	販売量が横ばいである。		

変 わ ら な い	雇用	人材派遣業	各社の状況は聞いている限り残業の圧縮など、総労務費圧縮他経費の無駄の徹底排除の実施等の状況を良く聞く。その限りでは、今年の賞与の減額も含めて会社経営はかなり厳しくなっていると思われる。このような背景も勘案すると景気の状況はむしろ悪化していると思われる。
		民間職業紹介業	求人企業がかなり増えてきているが、登録者（求職者）が少なくマッチングが図れない。
		公共職業安定所	有効求人数は横ばい傾向であり、有効求職者は減少している状況にあり、大きな変化は見られない。
		学校就職関係者	ここ数年求人数は増加傾向であるが、前年に比べ、学生に対する求人の伸び率の変化がない。公共訓練（受講料が安い）のため景気により受講者数が変化するが、応募率に変化がない。（不景気：増加、景気良い：減少）
		求人開拓員	求人を募集している企業のなかには、応募者が年々少なくなっているところもあるようで、地方では慢性的な人手不足になっているように感じられる。
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	昨年と比べ、天候がやや不順で、盆の商いがやや低迷。特に8月後半の台風等の影響が大きかった。
		コンビニエンスストア	お客様の購入単価が昨年を下回っており、財布の紐が厳しくなっている傾向からやや悪くなっていると感じる。
		衣料品販売店	来客人数が減っている。
		農産物直売所	店の売上げが少なくなっている。
		小売業（薬品店）	給料が変わらず、光熱費等が上がって消費を控えていると言う声をよく耳にする。
		和食レストラン	景気の停滞感が強く、顧客単価も下がっている。来店回数も若干減少傾向がみられる。以上要因から、売上げは若干減少傾向にあり、収益面も当然ながら低下している。
		割烹料理店	多人数の予約などは、予算を税込みの予算で組んでくるので、税込みにした分の減収が厳しい状況になる。
		タクシー運転手	1昨年より昨年、昨年より今年、6月より7月、7月より8月と、じり貧で自分なりにメモしてる数字を見てもずっと悪くなっている。
	企業	農業関係者	それ程、身の回りの景気が良くなっているとは思えない。また、葉物類の野菜価格が低迷している状況である。また、天候不順による台風等の自然災害が、今後の農業に与える影響が心配である。
		製造業（食料品）	地元会社関係（中小・零細）の客筋は減っている。客数もやや減り加減です。一般客に關しても、菓子の専門店でするので、コンビニやスーパーの菓子より価格が上ですので買い難いかもしれません。
製造業（食料品）		国の方針もあって日本の冷凍水産物輸出が盛んになっているが、一方で日本国内産、原料使用を謳ったタイ国産の魚缶詰が輸入されており、国産品との競合から価格低下傾向が続いている。	
製造業（食料品）		<b>北海道や東北で相次いだ台風の上陸や接近に伴う記録的な大雨の影響で、原料が高騰し、利益が減少。</b>	
悪 く な っ て い る	家計	農産物直売所	客単価は変わらないが、客数がだいぶ減った。遠方からのお客様が減った。
		小売業（書店）	<b>電子書籍やスマートフォンの普及により、雑誌・コミックの売上げが伸びず、競合店舗のポイント施策も影響。</b>
		日本料理店	事故や大風（台風含む）が多かった。キャンセルが200名以上でた。
		タクシー運転手	最近にない乗客率の低下を感じる。
	企業	製造業（食料品）	特別な理由のため。（製造工場が未稼働）
		サービス業	自動車分野、機械製造分野からの顧客の受注の減少のみならず、問合せの数も明らかに減少している。

## (4) 県南地域 【現状】

(ー: 回答が存在しない。 ○: 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	ー	ー	ー
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	“景気が悪い”というワードを最近では耳にする機会が少なく、お客様が購入していくものも、単価が高まってきている。
	企業	製造業(非鉄金属)	受注が増加している。
		建設業	10月1日には土浦の花火があり、その関連工事のため忙しいのは毎年のことである。最近、民間一般からの工事見積りが頻繁にあり、景気はやや良くなっていると判断する。
	雇用	公共職業安定所	新規及び有効求人数が減少傾向であり、雇用に関して活発な働きが見られない。
		求人開拓員	10月に当所で、就職面接会を予定している、その求人元の情報の入力に多忙で、求人開拓をしていないが、それでも求人登録依頼がFAXや来所が入ってくる。
変わらない		スーパー	お客様の来店において、外国人の姿、外国人労働者が増えたように思える。しかし、景気が良くなってきているとは思えない。
		スーパー	3か月前に今年の夏は暑くなると言っていたが例年並みかそれ以下で、ドリンク業界で残りが多く悲鳴を上げているなどと、良くなると言っていたが変わらなかったと判断できる。
		コンビニエンスストア	お客様の店舗での消費が変わらないと感じている。
		家電販売店	前年の売上げ金額より下回る。買い替えのお客様が少なく、壊れたから購入するお客様が多い。(壊れないと買い替えしないというお客様が多いです。)
		農産物直売所	当店に関しては前年対比集客は減、しかし、売上げは伸びている。客単価が上がっている。野菜が高騰しているせいもありますが。
		小売業(食品・酒類)	特に変化はない。
		小売業(生花店)	新規事業所オープンに伴う胡蝶蘭等の注文が多少増えてきたが、今まで定期的に発生していた1万円程度のGIFT用アレンジメントがここ1か月くらい全くというほど急に減少している。業種格差がはっきりしてきたように思います。
		専門スーパー	客数、売上げともに横ばいです。
		和食食堂	観光客の売上げが去年と横ばい。
		和食食堂	オリンピック、パラリンピック効果が続いていると思う。
		日本料理店	3年前より牛久・龍ヶ崎近辺のテレビの影響で人は来てます。昨年も前年度100%、今年も前年度100%くらいです。客単価も変わりません。
		都市型ホテル	宿泊及びレストランの個人需要は多少上昇傾向でしたが、単価においては、宿泊や宴会含めて減少傾向であり、このことから相殺しても3か月前とあまり変わらないと思えた。
		旅行代理店	お客様の旅行商品の選択や、旅行費用の基準などの様子から、景気が良くなっているように思えない。
		タクシー運転手	駅からの利用客が横ばいで変わらない。一般客(お年寄り)の御利用が減っているように感じる。
		タクシー運転手	利用される方の数は減少気味だが、中距離～長距離の仕事が増えている。プラスマイナスゼロ。
		タクシー運転手	良くも悪くもなっていないと感じます。
		タクシー運転手	乗車回数の増加が見られない。法人関係のチケット利用の増加が見られない。飲食店への迎車回数の増加も同様に少ない。
		サービスエリア	毎月の交通量がわずかではあるが前年を割っており、それに伴って商業施設の入館者数も前年を下回っている。夏のハイシーズンも同様の傾向にあり、曜日の並びにも若干の影響はあると思われるが、お客様の出足が多少鈍くなっていると思われる。ただし、入館されたお客様の購買意欲は相変わらず高い率を示しており、8月の売上げがわずかに前年を下回ったが、他の月はほぼ維持しているため、個人消費の傾向はまだ高いと思われる。
		ゴルフ場	天候に影響を受けやすい業種ですが、来場されるお客様は単価の変動などもない。
		理・美容店	特別変わりはないと思います。オリンピックなどで良くなりそうな材料はありましたが、それほどの変化は感じられませんでした。
		理・美容店	動員や売上げがまったく変わっていないし、新規も増えていない。
		住宅販売会社	4月以降、集客数が伸びているが、ここ直近では落ち着いてきた。

変 わ ら な い	企業	農業関係者	前回も書いたと思いますが、米価が上がればこの地域は景気が良くなるのですが、米価も平均で約500～600円上がった状況。前年度も良くないと書きましたが、変わらない状況です。
		製造業（食料品）	お中元等の売上げ等も前年よりやや少なく、また、ガソリン等も落ち着いていて景気は落ち着いている。
		製造業（金属製品）	毎月受注する品種が決定していますので多少の増減はありますが、現在は変化は感じません。
		製造業（食料品）	客数、売上げ単価とも変わらない。
		製造業（飲料）	良くなった、悪くなった話を聞かない。
		製造業（家具・装備品）	仕事柄、忙しくしておりますが毎年のことで、このシーズンは良い方かなと思っています。
		製造業（印刷業）	来客数が変わらない。
		製造業（一般機械器具）	これといった変化がなかった。
		建設業	夏場は発注が減少するので、概ね変化なしと言える。
		建設業	見積り依頼があまりない。同業者の話から。
		運輸業（倉庫業）	<b>食品関係は3か月前と比較しても好調を維持しているが、全体的に見ると変わらない状況になってきた。</b>
		金融業	依然として設備資金の需要は少ない。融資申込みの大半を運転資金が占めている状況に変化はなく、3か月前と比較しても特段の変化は感じられない。
		不動産業	エリア毎の特徴的な動きは見受けられるが、全体としては例年並みの動き。
		雇 用	人材派遣業
求人広告	特に動きを感じない。		
学校就職関係者	特段変化は見られない。		
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	買上げ点数の減少。
		スーパー	<b>客数の伸びがなく苦戦しています。前年対比売上げも減少してきています。現在の業績の悪化を天気のせいにはしたくないですが、長雨の影響もあったのではと考えています。</b>
		洋食食堂	9月前は、法事、誕生日（退職祝）、還暦祝等、イベント食事が多かったのでその反動はあります。
		寿司店	季節的な要因を除くように注意がありますが、台風がよく来て客が逆に来ない。
		都市型ホテル	6月、7月においては、伸び率が良く売上げも良かったが、8月に入り売上げがかなり落ち込んだため、やや悪くなっているように思われる。
		ゴルフ場	<b>台風が3回も発生し、天候、交通手段も乱れ、夏休みにも影響が出ていた。ゴルフ場もそうだが、レジャー旅行等に関する景気についても悪い影響があると思われる。</b>
		工場見学案内	本年4～6月の総見学者数前年比93%に対し、観光会社経由の予約による見学者は91%と減少幅は総見学者、観光会社経由ともにニアであったが、直近の8月は各々97%、78%と観光会社経由が大幅減。即ち、レジャーに費やす支出を最小限に抑えるべく守谷周辺の個人客が多く来場した結果と推察される。また、土産売場の売上げ状況も同様に比較すると4～6月前年比が88%、8月は85%と直近の減少率が高いことから3か月前から景況は悪化していると思われる。
		ボウリング場	若年層から中年層の方々の平日の夜や、週末の来場数に伸び悩みが感じられる。また客単価のダウン企画には目は向けてもらえるものの、売上げUPには繋ぎえない。
		レジャー施設	ビックレース実施時期の大幅変更など、昨年と単純に比べられない要因が多く、判断が難しい状況です。ただ、例年より台風の上陸数も多く、特に9月には、客足に若干の悪影響が出たと見られる。
		住宅設計販売	不動産の価格が下がっている。
企業	農業関係者	9月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年6月期～と比較すると両者ともにほぼ変わりはない。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、わずかに減少傾向。	
	製造業（窯業・土石製品）	予算は莫大な規模になっていると思いますが、公共事業などは実際に施工されているのに、前年よりずっと悪い状態が続いております。	
	製造業（窯業・土石製品）	<b>公共事業の受注が減り、民間の設備投資に頼らざるを得ないが、民間も設備投資は景気の先行きが不透明なので慎重になっている。</b>	
	建設業	大変厳しい状況です。契約の問合せすらありません。電話、ハガキなどもです。上向きになる要素が全くありません。	
家計	百貨店、総合スーパー	3か月前と比べ客数減少と売上げ低迷。昨年に比べ約3割の客数減（台風と件等もあるが、厳しい）。お客様の買い方も安いから売れる時代ではない。	
	小売業（米穀）	毎年7、8月は夏休みで学校給食の代わりに家庭での消費が増えるのですが、ここ数年で一番悪いです（7、8月共）。これは、ふるさと納税謝礼品の影響もあるのかと想像します。当市でも、6月から始めましたが、農産県でありながらお米に関しては特売品のイメージしかない県産米ですが、そこそこ出ている。また、新潟県等の有名産地のお米は、ふるさと納税謝礼品にまわっていることから、仕入れにも影響が出ています。	
	タクシー会社	市で運営している安価なデマンドタクシーを利用している人が多い。	

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	秋から冬のほうが客単価が上がるので期待したい。
		専門スーパー	昨年に比べ、3か月連続で客数が増加している。
		ドライブイン	土・日・祝日以外の平日でも来店者数が増えてきている。
		商店街代表者	少しずつだが売上げが回復している。
		住宅販売会社	集客数が増加してきた。低金利の今のうち、と考えるお客様が増えてきた。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	3か月前が、今まで経験したことがない最悪の景気でしたので、今が多少良く感じるだけであって、一年を通して悪い状況が続いているのが我々の業界の中の当社の業態です。
		不動産業	不動産売買客が増加。（需要に比べ供給が少ないが）
	雇用	求人広告	以前の3か月が悪かったのも影響しているが、クライアントから人員不足の話が出てきた。企業の採用を行う予定も増えてきたため、若干だが景気が改善しているように思える。
		求人開拓員	就職相談に来る人の数が落ち着いたように見える。数か月前に職を探していた人に状況を聞くと就業中の方が多いので、仕事はある。より賃金が高い職を選べる状況。
	変わらない	家計	商店街代表者
衣料品販売店			苦しい様子の話は聞いたりするが、良くなった、または悪くなったというような話は聞こえてこないで、全体的には変わらないのではないかとと思う。
自動車販売店			販売台数に変化なし。
農産物直売所			客単価が変わらないから。
和食食堂			来客数・売上げ共に変化はありません。
和食食堂			<b>来客数や予約は多くなってきているが、このところの台風がまとまって来ているので、材料不足や原価の高騰により3か月前とあまり変わらないと思われる。</b>
和食レストラン			売上げが3か月前とあまり変わっていない。来客数もフリーで入るお客様が減っている。
都市型ホテル			客単価や来客数等は比較的安定しており、昨年と比べてみても変化は見られないように感じます。
ゴルフ場			予約状況より。
レジャー施設			日々の来客数を見ているが、施設上どうしても天気によって左右されるところがあるが変化がないように思えます。飲食や売店等の購入状況もほぼ変化が見られないため、ほとんど変わらないと思う。
理・美容店		特に変わりはなく、普段通りな感じである。お客様の声も、変わらないという言い方が多い。	
企業		農業関係者	定期貯金や預金の金額にも大きな変化が見られないように思える。
		製造業（食料品）	相変わらず売上げは多少の増減がありながら、ほぼ横ばいで推移している。新しい商品はあるものの、ごく短期間で終了となり、結果的に長期の売上げ増に繋がらない。
		製造業（印刷・同関連業）	毎年夏の暑さが厳しくなっていく中で、昨年は県西地区（常総市）で大変な災害だったが、本年は今のところ大したことなく推移している。仕事の方も例年夏は暇になるが、消費税アップがなかったお陰で、この時期には受注も順調に確保できている。
	製造業（化学工業）	主要市場である中華圏顧客の需要伸び悩みやスマホ等電子製品の部材在庫調整継続。	
	製造業（金属製品）	“様子見”と思えるような小ロット発注が目立つ。	
	製造業（電気機械器具）	以前の調査同様、一部の部門より受注増量による増員要請がある一方で業績悪化部門もあり、全体の人員体制には変化はない。	

変 わ ら な い	企業	建設業	民間は見積りが少ないように感じます。1つ1つが小口が多いと思います。	
		金融業	取引企業とのヒアリングでは、毎月の売上げに関してはほぼ横ばいで推移しており、個人事業主に関しても同様な傾向が見られる。一部小売業に関しては、消費の冷え込みから売上げが減少しているところも見られる。	
		サービス業（コンサルタント業）	変化は全く感じられない。	
雇 用	公共職業安定所	若年求職者が減少している。		
	学校就職関係者	<b>3か月前と変わらず、求人企業が多い。</b>		
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	前年実績対比から見ると、平成28年2月頃から客単価の減少が続いています。来店客数と一人当たりの買上点数は、横ばいからやや良くなっているにも関わらず売上げがやや悪くなっています。昨年春から今年の1月頃までは高額商品も顕著に売れていましたが、春先から高額商品の販売がやや悪くなっています。	
		スーパー	客単価、お客様の来店頻度が減少傾向にある。	
		日本料理店	熊本地震や台風10号による被害状況が報道され、いつこのような状況が我が身に降りかかるかわからないなどの会話が身近に聞かれます。そのため、お客様の財布の紐が固くなっているように思われます。	
		飲食業	年輩の方の来店が減少している。外出が困難になられてるようです。	
		旅行会社	東京オリンピックに向けて景気がどんどん良くなると言われて昨年好調だったのに、今年春頃から失速気味に加えて自然災害が相次ぎ、下降する一方。	
		旅行代理店	<b>バス料金は、1回あたりとして上昇したが、回数が少ないです。つまり団体旅行やグループ旅行が少なくなってきました。部活動も、父兄がワゴン車で送迎しているのが練習試合などは、少なくなっている。大会だけでは、年間数回だけです。</b>	
		タクシー会社	例年より暑さが厳しいためか、タクシー利用者が激減、収入も前年同月比で大幅減、景気も悪くなってきている。	
		タクシー運転手	3か月前と比較すると、日中のタクシー利用客減少、また、深夜の利用客も更に減少傾向にある。	
		タクシー運転手	会社からの利用者は変わらないが、一般客の利用者は減っている。	
		ドライブイン	相次ぐ台風の接近による天候不順を考慮しても、客数は伸び悩んでおり、客単価も回復していない。	
		ゴルフ場	祝祭日はあったが、例年になく日照不足もあり、景気判断としては落ち込んだように感じる。気象庁の過度な予報にも景気が左右されるのでは。	
		ゲームセンター	7月頃から前年の売上げを下回ってきている。	
		企業	農業関係者	定期貯金のご解約や定期積金の非継続のお客様が多くなっている。
			製造業（印刷・同関連業）	<b>昨年9月の水害から1年が経過しているが、避難生活をしている人が多数おり、廃業を余儀なくされる人が後を絶ちません。地価も下落しており、明るい展望が描けない状態が続いている。</b>
製造業（一般機械器具）	3か月前と比較して今月は仕事量が減少しているが、毎年取引先の都合で、この時期は減少している取引先と、一方社名が変更して提携先との提携解除により8月遅れのための設備の受注が多くあったが、9月に入ってそのための設備がほとんど終了した関係。			
雇 用	人材派遣業	売上げが下がっている。		
悪 く な っ て い る	家計	製茶販売	お客様の来店が減った。正直売れません。	
		クリーニング店	お客様から余分な買い物は控えているとよく聞きます。	
	企業	製造業（食料品）	受注数が減っている。	
製造業（印刷・同関連業）	地方での全般的な傾向が反映される業種ではあるが、景気の悪化、官公庁の経費削減、デフレ傾向の一段の深刻化が感じられる。			

### Ⅲ 景気判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

#### (1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	スナック	お正月休み、ボーナスがあるので気分も大らかになり、消費が増えると思う。
	企業	製造業（精密機器）	量産を取りましたので今後は倍くらいになっていきますので、1年後・2年後さらに良くなると思います。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	9月から年末に向けた受注残がある。
		スーパー	努力した分だけ結果が出てきている。
		小売業（時計）	期待を込めてではあるが、夏の天気があまり良くなく、支出が少なかったと思われるので、少し使うような気がしている。
		中国料理店	仕事が忙しいと言っている方が多いので、そろそろ外食にお金を使ってくれる方が多くなるのを期待しています。
		レジャー施設	ご同封いただきましたパンフレットのとおりに、県北芸術祭の開催を機会として、交流人口が増えることを期待する。
		ゴルフ場	年末に当たり、人の動きは多くなり客単価も上がると思う。
		ボウリング場	既に、11・12月の団体利用の予約を一定数受け付けている。個人利用のお客様も、年末年始に向けて家族での利用を中心とした多人数での来店客数の増加が見込まれる。市が発行する「プレミアム商品券」の利用を促進し、普段利用されない一般のお客様に対してメリットを訴求することで、稼働数増となることを期待したい。
	企業	製造業（食料品）	行楽客（国内外）の増加が昨年以上に見込まれる。
		製造業（電気機械器具）	毎年9～12月は売上げが停滞下降する傾向にありますが、今年は例年と比較して売上げがやや良くなる見込みのため、景気はやや良くなっていると判断します。
		製造業（一般機械器具）	年度末に向け、出荷台数が増える見込まれる。
運輸業		輸送貨物の引き合いは相変わらず低調ですが、保管貨物の引き合いが増えているように感じます。	
運輸附帯サービス業		2016年下期の受注見込みが明るい。	
変わらない	家計	商店街代表者	景気に変化する要因が思いあたらない。
		コンビニエンスストア	良くなる要素があまりなく、同じような状況が続くのではないかと思います。
		コンビニエンスストア	雇用や経済状況は変化ないが、商品の単価が上がっていることが若干下支えになっているので大きくは変化しないと考えます。
		自動車販売店	例年秋口になると動きが良くなってくるが、今の落ちこみを考えるとあまり期待できない。
		小売業（弁当・惣菜店）	景況感の良いものの、大きな変化はないと思う。
		小売業（燃料）	変化する要因は少ない。
		小売業（酒類）	現状では期待できないと思う。
		小売業（水産物）	市内で景気の良い話題を聞かない。
		食堂	お客様（主婦）達の会話を聞くと、実家が良いと多少の援助があり、家を建てたり、子供を預けて働けるようです。以外の方は、苦しい話ばかりです。
		観光型ホテル	お客様は、目的に添ったお金の使い方をしている。
		タクシー運転手	仕事の量も横ばいが精一杯の状況。
		タクシー運転手	取り立てた話題もなく、何かやる気のない状態です。パーっと世の中が動き出すようなイベントもなく、日々の時間が漫然と流れて行く感じです。
		ドライブイン	お客様の購買欲が低い。（商品・メニューも搾り込んで起爆剤となる目新しい商品を投入する必要がある。）
		ゴルフ場	良い要素も、悪い要素も景気を大きく変動させるようなものは見受けられない。
	美容室	3か月先は、12月の繁忙期ですが、10・11月があまり変わらず、昨年比と合わせるとほぼ横ばい。	
住宅販売会社	しばらく状況に変化はないと思う。		

変 わ ら な い	企業	林業関係者	季節的要素で良くなると思うが、それを差し引いてみると変わらない。
		製造業（食料品）	当面は売上げに変化はないと思われる。
		製造業（電気機械器具）	2016年下期は今月と同等の推移が予想される。
		製造業（輸送用機械器具）	現在の円高傾向は、当面大きな変化はないと想定され、輸出収益圧迫が継続すると想定される。また、国内の自動車生産も大きな変化要因はないことから、景気の変化はないと想定される。
		金融業	お客様の受注などをみても低調ではありますが、安定的な推移が見込まれる。
		不動産業	季節は別として、好転する材料が見当たらない。
		情報通信業（情報サービス業）	特に良くなる理由もなく、変わらないと思われる。
雇 用	求人広告	予算のある企業と、そうでない企業の差が大きく感じ、結果的には大きく変わらないように思う。	
	公共職業安定所	求人数が増加傾向を示していることから、やや良くなっている所としたいところであるが、円高や中国経済の影響など不安要素も多くあることから、変わらないとした。	
	学校就業関係者	判断材料がない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	衣料品販売店	客数が伸びる要素がない。
		観光型ホテル	宿泊予約は、昨年同期と比較してほぼ横ばい。日帰り予約は、やや減少しており、景気はやや悪くなっていると判断する。
		旅行代理店	<b>9月～11月の観光シーズンでありながら前年より受注が減っている。</b>
		写真店	10月・11月が七五三シーズンで同時に着物レンタルも始まっており売上げが増加する時期であるが、それは毎年のことである。ここ最近、客単価や営業利益も減少傾向にあり、この傾向は続くと思われるため、景気はやや悪くなると予想している。
	企業	水産業関係者	総合的に不安を感じる。
		製造業（電気機械器具）	受注が取れなく今後低迷が続く予定。
製造業（電気機械器具）		受注残が少ない。また、引き合いも少ない。	
製造業（化学工業）	<b>中国や新興国の景気低迷をはじめ海外の需要が思ったように伸びないことや円高が一定水準まできて安定している。</b>		
建設業	見積りに関しては先細りの様子となっている。		
悪 く な っ て い る	家計	タクシー運転手	毎年少しづつ町の様子が寂しくなっている。
		ゴルフ場	低料金でも、なかなか来場に結びつかない状況が予測される。企業収益の悪化による現役企業人のゴルフプレー自粛ムードが心配。
	雇用	求人開拓員	天候不順で各地で生産物にも大きな影響が出ていて、価格の高騰で買い控えたり品数を減らす等、観光地への客数減等、各方面での不安材料を口にしていて、求人に対して求職希望の人数が少なく感じる。特に日立地区の企業からの問合せで多いのは、紹介者はレベルを下げてほしいから欲しい。



## (2) 県央地域 【先行き】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	割烹料理店	3か月後は忘年会シーズンに入るのので、今の稲刈り時期もわりと良いのですが、それよりも売上げは見込めるとしています。	
	企業	農業関係者	今後も収穫の秋で農家世帯の収入が増し、良くなっていると思います。	
やや良くなっている	家計	百貨店	3か月先の12月はクリスマスや歳暮、年末商戦で来店客数が増え、客単価が上がると予測される。	
		自動車販売店	4～8月は東日本大震災時、自動車メーカーの新車生産が止まっており、一番代替の発生する5年目(2回目)の車検が9月以降復活するため。	
		レジャー施設	期待値も含めてやや良い方向にあると感じている。異常気象による高温、続いた大型台風被害など出掛けにくい状況であったが、秋冬に向かい「動きやすい季節」となり、夏の反動に期待している。	
		ゴルフ場	天候が落ち着いてくれればとの期待。予約数が若干ではあるが上昇傾向を示している。	
		スーパー銭湯	例年にないくらいの秋らしい天候になることに期待するとともに、この秋に開催される県北芸術祭、11月の紅葉シーズンに県内外のお客様が楽しんでいただければ、県北、県央地区の景気は低迷した夏の間を取り返し、良くなっていると思います。	
	企業	製造業(印刷・同関連業)	施策方針の変更を検討しており、良くなる方に期待したい。	
		製造業(窯業・土石製品)	10月までの納期の工事が重なっている。	
		製造業(金属製品)	今後、受注しきれない程、仕事が出てくる見通しです。需給バランスから単価も改善するものと思われます。	
		製造業(精密機械器具)	2年ぶりに当社主力製品の新製品が、9月から販売を開始します。12月はその新製品の出荷月となり、売上げが予定出来ます。また、海外市場への輸出や、国内工場への複数台数の引き合いも出ていますが、半値八掛けの話として考えています。	
		サービス業(広告業)	年末年始の商戦時期なので、悪くなる理由はない。	
		サービス業(コンサルタント業)	年末のため受注発注が増えると思われる。	
	雇用	公共職業安定所	当分の間、求人倍率が下がる様子が見られない状況。	
	変わらない	家計	商店街代表者	景気を左右するような要因があまりないように感じます。
			百貨店	お客様の購入スタイルは変わらないと考えられる。
スーパー			客数・供給前年比がほぼ横ばい。	
スーパー			将来の不安感があり(年金や給料)、少しでも節約しようというムードが広がっているので、消費は増えていかない。	
スーパー			変化する要因が見当たらない。	
コンビニエンスストア			年末に向けての目立った情報は特にございません。	
小売業			中国人の爆買いブームは、ある程度収束した感じであり、茨城空港を利用した訪日中国人の大幅な消費増はのぞめないこと。また、日本人旅客の消費動向については、大幅に変動する要素を見つけるのが困難。	
農産物直売所			3か月先までの予約(飲食、イベント参加)の申込みが今と同じくらいである。	
レストラン			今のところ良くなる要素はないと思う。	
レストラン			特に変化なし。	
都市型ホテル			現在は忘年会(親睦会)の申込み時期で、忘年会は個人負担も多いが、ほぼ例年と変わらない。予算が多い。	
旅行代理店			昨年のようなシルバーウィーク(連休)等もなく、大きな期待はできない。しかしながら景気が悪くなる要素もないと思います。	
旅行会社			燃料費は値上がりし、安定していない。	

変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	タクシーに乗っているお客様が新しい店の建設に喜んでいる様子ですが、店の閉鎖の跡地に新店舗ができるというような感じで景気が良くなっているとは思えません。
		タクシー運転手	3か月先の12月はクリスマスや忘年会があり、受注が増えると予測されるが、それは毎年のことである。客単価や利益率はギリギリ横ばい傾向のため、3か月先の景気も変わらないと思う。
		タクシー会社	日々のニュース等でも特に景気に影響を及ぼす要因が見当たらない。株価も17,000円前後で上げ下げを繰り返している状況で落ち着いているので、しばらくは変化がないのではないかとと思われる。
		タクシー会社	県内市場の動向により変動するものと思うが、県外よりのお客様が多少増加している中で、県内のタクシーご利用客が減少している。
		観光名所	秋は観光シーズンとなり、客数・売上げ共に増えるが、毎年のことであり景気が良くなっているとは思えない。3か月先にはポケモンのブームも終息していることが予想されるので現在のような突発的な集客は難しいと考えます。
		レジャー施設	問合せもない。
		理・美容店	当店は年間の来客数はあまり変わらない。
	住宅販売会社	今後3か月という、アメリカ大統領選挙が控えているが、間接的にどのような影響が出るか未知数である。	
	企業	製造業(食料品)	年越そばの問合せは例年通りきている。
		製造業(印刷・同関連業)	好転する要素が見当たらない。
建設業		変化感じられない。	
運輸業(道路貨物運送業)		運送数量の増加は今のところ望めない。	
金融業		設備投資においても慎重な姿勢を示している企業多く、引き続き現状と変化なく推移すると思われる。	
情報通信業(情報サービス業)		景気の先行きが不透明とのことで、顧客から設備関連投資の順延話も出ている。何らかの景気浮上の切っ掛けを待望するが、市場は相変わらず薄曇り状態。景気の好転は当分先か。	
雇用	人材派遣業	今後もあまり変化はなさそう。	
	学校就業関係者	<b>求人情報の中の大学生給与単価が、安定している。</b>	
	求人開拓員	就職を目指す求職者の中で、書類制作(103.6%増加)、添削、模擬面接など就職に直結した就職相談件数(キャリアカウンセリングを含む)などは、103.2%と増加傾向にあります。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	なかなか良くならない。中心街から事業所が少なくなっており、受注量、受注額が年々縮小している。買い物をする人が歩かなくなった。歩行者の通行も減っている。
		スーパー	食品のデフレで特売値下げが目立つ。
		コンビニエンスストア	増税も含めて、消費税の心理として、高い買い物に対しての小売の項目は、抑える傾向と考えます。
		都市型ホテル	年末の予約も現在の状況では伸びていない。このままだと例年より更に悪化する予想もある。
		観光型ホテル	団体客の減少に加え、景況感の悪化により個人旅行も安い商品から売れるなど控え気味になってきている。
		ドライブイン	お客様の財布の紐もとっても固く、年々そうになっている気がする。
		ゲームセンター	今年は、アナ雪や妖怪ウォッチなど爆発的な人気商品が存在せず。大量仕入れができず、コスト増が予想されます。
		建築設計事務所	業務密度が増えるも、報酬が低価格化という反比例する状況が続いている。
企業	製造業(食料品)	現状と大きく変わる要素はない。	
	製造業(一般機械器具)	今後も良くなるという状態ではない。	
	不動産業	空室が増え、資金繰りが厳しいオーナーが増えているような気がします。	
雇用	求人広告	給料が上がっている話は聞かない。	
悪 く な っ て い る	家計	スーパー	昨年末円高は進み、株価はさえないし、消費税増税の先送り、将来に対する安心感がない。必要な物だけを、まず値段を見て吟味して買っているようである。
		楽器販売	現在の状況を考えると、良くなる兆しを感じられない。
		ペット美容室	当店の売上上げを景気と呼ぶのかどうかは疑問ですが、毎年9月から12月中までは売上げが落ちます。

## (3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	小売業（食品）	今月も順調な出足なのでやや良くなっていると思います。米の値が少しでも上がればもっと良くなると思う。
		洋食食堂	地震で大きく売上げを落としましたが、少しずつですが前年クリアが続き地震前の売上げを追い越しています。お客様は「自分にとって価値のあるもの」に使うお金は持っていると思っています。それを探るのが自分達の仕事かと思っています。
		日本料理店	お祝い事の自粛や台風がなくなっていると思うので。
		ドライブイン	収穫祭など秋イベントについて期待をもっている。
		レジャー施設	大手メーカーの工場が数多くある場所に隣接している立地のため、そこで働いている方の給与増への期待感。また、最低時給の底上げなどの影響での客単価増加により、先行きとしては、若干良くなっていると思います。
		理・美容店	物価の上昇が景気の上向きに寄与するので、このまま少しずつ物価の上昇が安定すれば、サービスを提供する側から見れば、良くなっていると考えられる。
		クリーニング店	この先3か月後も行事があるので、来客数も増えると思います。（クリスマスやお歳暮、イルミネーション）
		製造業（電気機械器具）	海外からのリターン製品がやや発生している。新規の受注案件が複数あり、生産増となる見込み。
		保険業	東関東自動車道水戸線工事が少し始まっている。
変わらない	家計	商店街代表者	小売店ではコンビニ・大型店の影響、建設業では建設資材の上昇など、それぞれに不安要素を抱えており、予断を許さない状況である。
		コンビニエンスストア	改善に向かう要因が見当たらない。
		衣料品販売店	交通の便が良くなっていて、遠くまで出かけることが便利になっていると思いますので、大型店に流れていると思います。
		家電販売店	将来に向け不安材料の方が多く、高級志向にはなりづらい環境にある。
		農産物直売所	良くなる要素がない。とにかく財布の紐が固い。
		農産物直売所	悪い材料も良い材料もあまり聞いていない。
		小売業（菓子類）	特に景気変動する様子はないと思われる。
		小売業	改善する材料が考えられませので、変わらずとします。
		和食レストラン	景気好転の大きな要因はなく、当面景気は良くならないと思います。（お客様の財布の紐はきつくなっています）
		割烹料理店	コンビナートの企業などは、全体的に厳しいようで接待なども減り、料理の値段も下がっている。
		海鮮料理店	毎回同じことなんですけど、あまりにも良い時が少なく、悪い時との割合が激しい。安定していない。
		観光型ホテル	特に仕事をしているうえで、変化する要因は見られない。
		タクシー運転手	ここ2～3年変わってない。
		ゴルフ場	特に変わらない。
		レジャー施設	「良くなる」と判断するための要素が見つからない。
		理・美容店	良くなる気配はあまりなく、お客様のサイクルも変わらないと思う。
		住宅販売会社	変化はないと思われる。
住宅販売会社	変化が見られない。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	今後、農作物については一部作物を除いて、価格が低迷する恐れが考えられるなど、所得が増える要素が少ない状況である。	
		製造業（食料品）	特別な理由のため。（製造工場が未稼働）	
		製造業（食料品）	前期と変わらない（少しずつ良くなっているかな）。食料品スーパーは客がいるが、その他の大型店はまばら。	
		製造業（食料品）	中小・零細企業が相手ですので、その経営状況が良くなると、販売に結び付かないと思います。一般客については、給料が上がらないと同様であると思う。	
		製造業（食料品）	<b>為替がある程度円安方向に振れない限りは、当面、現状維持ではないかと思われる。</b>	
		製造業（食料品）	北海道や東北の大雨による野菜の高騰が年内続くのではないかと思う。	
		建設業	新築が受注出来ない分、リフォームの方もあまり受注できません。	
		運輸業（道路貨物運送業）	特徴的には既存の貨物の動きが悪い。このまま年末までいってしまう気がする。	
		金融業	<b>当組合の取引先である中小零細企業においては、業況が好転している企業はあまり見受けられず、業況は前年同水準で推移している企業が多く、今後3か月の景気動向については変わらないと思います。</b>	
		不動産業	特に景気の良さを感じません。	
		内装工事業	去年から景気が良くなる気配が一向に見えてこないし、今後、良い流れが来るとは思えない。	
		火力発電所	需要見通しに変化は見られない。	
		雇 用	人材派遣業	業務量が旺盛で派遣の需要は従来から大きく変わらない状況にある。しかし、前述の背景から見ると受注があり生産状況は旺盛であるが、業績面では相当厳しく価格低迷の状況が依然として続いている。
民間職業紹介業	求人企業は増えるが登録者（求職者）が少なくマッチングが図れないという状況が続くと思われる。			
公共職業安定所	募集（求人）の理由として、欠員補充によるもの他に、新卒者対象求人は主に定期採用によるものが多かった。			
学校就職関係者	求人先では、人が足りていない状態であるが、実質賃金の変化があまり感じられない。			
求人開拓員	台風の影響により、一部の野菜等は値段が上がりそうであるが、景気を左右するまでにはならないと思う。			
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	<b>働く女性や高齢者の増加により、野菜・魚・肉などの素材の売上げが減少傾向にある。その代わり、お惣菜や簡便食材の売上げ増になっている。やはり、スーパーとしては、素材が売れないことには売上げの増加にはならない。</b>	
		スーパー	9月に入っても雨が多い天候で、農作物にも被害がでており、客単価等もやや減少傾向にあり、先行き見通しこの傾向が続くと思われる。	
		小売業（薬品店）	年末に向かって、生活必需品しか買わない傾向が強くなると思われる。	
悪 く な っ て い る	企業	建設業	案件が非常に減少しています。景気上昇の感じがしません。	
		家計	タクシー運転手	地域周辺の状況を見て良くなる環境がない。
			タクシー運転手	年々悪くなっていることなどから、特需等があつて1か月の数字が上がったとしても一時的なもので、将来的にこのまま下降傾向に行くのでは。
企業	サービス業	国内での各種産業部材、耐久消費財の需要の低迷、円高傾向、海外市況の低迷というような3分野での逆風により今後もしばらくは好転の兆しは見えない。		

## (4) 県南地域 【先行き】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計		
やや良くなっている	家計	スーパー	ポイントカードの導入が近日中になり、先行きは明るくみえています。
		コンビニエンスストア	今年に入ってから、右肩上がりの売上げになっているため、3か月先の景気も期待できる。お客様は、“価格面”よりも“質”をみている。
		洋食食堂	11月～12月はイベント食事が多くなり、また、食材も豊富で、売りのジヒエが充実します。
		寿司店	毎年のことですが、11月～12月になると予約がいつも入ってくる。期待しています。
		ゴルフ場	現在が良くないので、通常これからの3か月先はオンシーズンということもあり、やや良くなっていると予想したい。
	企業	製造業（飲料）	季節的なことになってしまうが、人が動く時期なので少し良くなると思う。
		製造業（非鉄金属）	<b>納入先の販売見通しが堅調な様子。</b>
		建設業	3か月先は年末であり、年度末工事の発注量が多く、忙しくなるのは毎年のことである。前年と比べて、見積りしてある工事が多くあるので、3か月先も、工事をこなしていくのが大変だと思う。よって景気はやや良くなっていると思う。
		運輸業（倉庫業）	食品関係の好調さえ維持できれば現在よりも変化すると思う。台風等の影響により、多少良くなる企業もある。
	雇用	求人開拓員	<b>就職面接会を他でも参加したが、採用通知を出しても、辞退されてしまうという事業所が最近多い。</b>
変わらない	家計	スーパー	今後、著しく生活の変化が表れるようなことはないように思える。
		スーパー	良くなる要素がない。
		スーパー	今年はこのまま低調な波で推移すると思います。プラス要因が全くないだけで全く売れないわけではないと思っています。10月から社会保険の適用拡大や103万円問題、SMAPの解散もいろんな意味で影響が出るでしょう。客単価や買上率も減少傾向が続くと思います。
		コンビニエンスストア	大きな環境の変化がなければ、3か月先についても現状と同様の動きになると考えられる。
		家電販売店	個人の所得が増えないと景気は良くなりません。
		農産物直売所	前に述べたように地元リピーターが多いため変わらない。
		小売業（生花店）	県南地区は市町村の格差がはっきりしてきているように思います。定住人口の増加が見込める市町村と、見込めない市町村が明確になってきているように思います。
		専門スーパー	変化する要素が見当たりません。
		日本料理店	たいして変わらないと思いますが、何とも言えません。
		都市型ホテル	オンハンドの受注状況は昨年とあまり変わらない。また、周年行事も定期的に大手限らず開催されるようなので、特に景気的には変わらないと思われる。
		都市型ホテル	昨年の売上げと今年の予約状況を比較すると悪くなるようには思われるが、良くなる程ではないため、変わらないように思われる。
		旅行代理店	秋のシーズンに向けてお客様数は増えていますが、料金面などから見ても安価なものが好まれたりと、まだまだ消費に対しては厳しい状況です。
		タクシー運転手	法人利用に期待するが、接待理由がなければ売上げは伸びない。
		タクシー運転手	特に景気の変化する動きが見られない。
		タクシー運転手	企業業績が横ばいであり、経費節減等による交際費の削減と思われる。個人消費の伸び悩み。
	タクシー会社	企業の利用チケットが、少なくなっている。	
	サービスエリア	交通量の減少が気になる場所であるが、個人消費の傾向にそれほど変化はなく、今後3か月間において特に社会的影響のある事象も見当たらないことから、特に変化はないと判断した。	
	ゴルフ場	天候の要因が大きいですが、予約状況等を見る限り大きな変動はないものと思える。	
	工場見学案内	観光会社経由の予約客や土産の売上げ状況等、9月に入りまだ2週間と短いものの8月と同様の傾向が続いている。一方、9月の土産売場の売上げ状況は、減少率では若干改善が見られるものの減少傾向に変わりなく、10～12月で劇的に増加傾向に転じるとは予想し難く、変わらない、もしくはやや悪くなっていると思われる。	

変わらない	家計	レジャー施設	台風等の季節要因、ビックレース実施時期の大幅変更など、昨年と単純に比べられない要因が多く、判断が難しい状況です。	
		理・美容店	良くなるような話がテレビを見ていても全くない。	
		住宅販売会社	今月は半期末のため比較が難しいが、大きく動くことはなさそう。	
	企業	農業関係者	変わらないと思います。	
		製造業（食料品）	今年は台風も多く、各地で大きな災害が発生している。米の収量等も減少のようで、野菜等も不作で値も上がっている。家計費に悪影響もあるように思う。	
		製造業（金属製品）	現状では変化はないので、新しい品種を受注しないと良くなるのかも知れません。	
		製造業（食料品）	特に社会情勢に変化が見えず。それほど景気の変化はないと思います。	
		製造業（家具・装備品）	少しずつですが、お客の好みの変化がみられます。良い方向になることに期待しています。	
		製造業（窯業・土石製品）	天候不順（台風等）による工事の延期や遅れなどがある。	
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。	
		建設業	今現在で発注は多い。個人のお客様の新築・改装もあるので景気は悪くないのでは。	
		金融業	<b>不動産取引に若干の動きは見られるものの、明るい話題は聞こえてこない。経営者との会話の中でも先行きに対する不安が感じられる。</b>	
		不動産業	エリア毎の特徴的な動きは見受けられるが、全体としては例年並みの動き。	
	雇用	求人広告	10月より下期に突入する取引企業も多いが、特に前向きな動きをとられる企業が現状なさそう。	
		学校就職関係者	変化する要因がない。	
	やや悪くなっている	家計	小売業（食品・酒類）	全体的に人々が裕福になっているのかどうか疑問である。地域的な格差はあると思う。少なくとも、我が地区まではまわってこないだろう。
			小売業（米穀）	<b>毎年9月以降は、新米が贈答用としてご利用いただけるのですが、今年は、米価が高いことから贈答としてのお米は見送られると想像します。また、例年以上に縁故米が多く出回りそうです。</b>
			和食食堂	8, 9, 10月は特にイベントがなく売上げを思案中。
			和食食堂	天災等で明るいニュースがない。
タクシー運転手			飲み歩く人がどんどん減っているように感じる。	
ボウリング場			平日の夜や週末の来場数から見ても、また、年末手当の急増も考えられない。	
理・美容店			店の前に官舎があるのですが、段々と人が減っているので、売上げも減るのではと思います。	
住宅設計販売		年末くらいに、大きな買い物をする人は極めて少ないと考えます。		
企業		農業関係者	お客様全般における「買え控え傾向」は依然として続いている。	
		製造業（印刷業）	来客数が増える理由が思いつかない。景気は下がっていると思います。	
		製造業（窯業・土石製品）	政府の景気対策が、金利を下げて民間設備投資に資金を回し景気回復を目指すことを考えていると思いますが、金利引き下げで不動産投資を金融商品と考えている方は飛びつき融資も増えているとの報道がされているが、バブル期、サブプライムローンと似た不良債権をこれから生み出す施策でしかないと思います。	
雇用		人材派遣業	冬に向けての受注が減っている。	
		公共職業安定所	求人関係が減少傾向の反面、求職者関係の数値が対前年同月比で増加傾向となっている。	
悪くなっている		家計	百貨店、総合スーパー	今後、節約含めてさらに厳しくなる。市場全体含め景気回復は難しいと思う。イベント需要も低くなっているのではないかと。（母の日、父の日も売上げ低迷であった。）
	企業	建設業	景気悪いですね。いい話題が全くありません。ほとんどの友人、知人は、売上げが大きく落ち込んでいるとのこと。	

## (5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	スーパー	客数と買上点数がやや明るい実績なので営業戦略の方向修正を図れば売上高も良い方向に向かうと思います。
		和食食堂	こここのところ景気を押し下げるような悪いニュースも聞かないので、期待も込めて。
		和食食堂	忘年会の時期であり客数も増えると思われる。しかしここ数年、客単価や利益率は減少傾向にあるが、今の景気よりはやや良くなってくると思う。
		和食レストラン	3か月先は時期も寒くなる季節になり宴会も増える時期。また、少し前に宴会の敷地を広くし、席数も増やし、カラオケなどの機能をつけて宴会場を充実できる空間にリニューアルしたので、来客数も増え、売上げも良くなっていると思います。
		ゴルフ場	客単価や利用率（予約）が例年に比べ好調。
		商店街代表者	景気が少しずつ回復していると思える。
	企業	製造業（印刷・関連連業）	年末に地方選挙（市長選）を控えているので、今から受注あり、今後は増えるのみなのでプラス要因。また、市内に大手自動車メーカーが進出して、来年あたり本格稼働に向けて人材確保、また設備投資等も活発に進行しているので3か月先のみならず、明るい材料がいっぱいだ。
		製造業（一般機械器具）	設備等年末に向けて増加しそう。
		建設業	<b>水害に関係する工事が出てきているので、仕事量が多くなってくると思うので、良くなることに期待しています。</b>
	雇用	求人広告	クライアントから採用予定以外にも、増産予定や出店予定などの話が多くなっている。今に比べれば良い方向に推移すると思われる。直近の3か月が悪かったため、その反動もあり景気の良い話が出ている。
		学校就職関係者	求人企業が、増加傾向にあると感じる。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			景気回復の要因が見つけられない。
自動車販売店			特別目立った変化はないように感じる。
農産物直売所			景気が良くなりそうな要因が見当たらない。
都市型ホテル			昨年と比べて、予約の入り状況が良くない。今後増えたとしても、昨年と横ばい程度かと思われまます。
旅行会社			3か月ぐらいでは良くなるとは思えない程、今が落ち込んでいる。
タクシー運転手			景気は良い方向にはないと思うが、タクシーを利用したいお客様が増えてきてほしい願望がある。
ドライブイン			現時点では、景気が好転する情報がない。長く来ていただいたお客様が来なくなりました。
ドライブイン			個人消費はデフレ傾向を脱却しておらず、景気が回復する要因が乏しく現状維持を保つのが目一杯だと思われる。
ゴルフ場			予約状況より。
理・美容店			高齢化に伴う商店の廃業、水害による人口減など、景気が良くなるようには思えない。
住宅販売会社	集客数は良くなっているが、更に良くなるかは何とも言えない。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	マイナス金利政策により、お預け入れするお客様が減少してきている。また、金融機関や証券会社など各社収益が出なくなっている。
		製造業（食料品）	得意先の仕入れ量がトントンか、若干減少している。客足も伸びずに何とか商売を続けているところが多い。
		製造業（金属製品）	景気が上向くネタがない。得意先各社でも暗中模索の感じがある。
		製造業（電気機械器具）	長期的な受注変動の把握は従前通り難しい状況にあり、現状の人員体制を維持継続する見込みである。
		金融業	一部の企業（土木建築業、電気設備業等）では受注増加し、業況良好な先も見られるが、小売業やサービス業、製造業等の多くの業種では業況変わらず、今後も変化ないと思慮される。
雇用	人材派遣業	良くも悪くも話にでない。	
	求人開拓員	就業が難しい人を除いては、就職口はあるので、これから先、就職できないほど生活が大変な人は見受けられないと思う。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	水害被害の方の戻りがまだない。
		専門スーパー	今年は地域振興券の恩恵が受けられず、やや悪くなると思います。
		日本料理店	西日本、九州地方、東北、北海道の豪雨により、特に農産物に大きな被害を受け、馬鈴薯（ジャガイモ）や玉葱（タマネギ）等の値段が高騰し、一般消費者は無駄な支出は極力出さないようになると思われる。
		飲食業	節約志向がさらに広がると思います。
		旅行代理店	やはり、老人会や婦人会（女性会）の動きが少ないです。景気不安があります。衣食住が精一杯らしいです。年金生活では旅行に行く予算が出ないと言われた。今後も厳しい経営になります。
		タクシー会社	身近でも景気回復には程遠い状況であり、タクシー利用客が増えてくる状況は期待できない。
		タクシー運転手	飲食店関係者が店を締めるのが早いので、夜の仕事がない。飲食店にお客が入っていない。
		ゲームセンター	現状では回復する手段が見当たらない。
		レジャー施設	近年忘年会などを自粛する企業様などが増え、少しずつではありますが景気は低迷しているように思える。同時に仕入商品の値上げ等があってもお客様への単価に現状反映は難しく、利益率なども悪くなるので緩やかではあるがやや悪い状況に思える。
企業	雇用	製造業（印刷・同関連業）	本年も後3か月を残すのみとなり、年内の仕事の確保に営業活動を強化しているが、思わしい結果は得られていない。単価を下げての受注も限界にきている。
		製造業（化学工業）	自動車、電子製品市場とも大きな回復情報がない上に、例年季節要因で12月～2月に受注が落ち込む。
	公共職業安定所	最低賃金上げがどのくらい影響するか判断が難しい。	
悪 く な っ て い る	家計	衣料品販売店	今月は学校行事等買い替え需要があるが、来月から年末に掛けては自店のような小売店は需要がなくなってしまう。
		製茶販売	良くなる要因が見つかりません。
		クリーニング店	年末のボーナスがどうなるのか、分からないと聞く。
企業	農業関係者	台風の影響もあり、農産物への被害が拡大する中で、野菜の高騰等、消費も落ち込むのではないかと考える。	
	製造業（食料品）	良くなる要素がない。	
	製造業（印刷・同関連業）	現在の状況が先行きに反映されがちである。特に消費傾向の低下は大手にまで及んでいると思われ、中小に於いては尚更で、それが我々の業種には直に影響する傾向にある。	
	製造業（窯業・土石製品）	世の中の流れが、動きが、我々の業界にとってまったく逆風。	



Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	老舗の書店の閉店が続いた。出版不況などは、景気の問題ではなく、消費者心理や消費行動の変化によるものと思う。いろいろな場面で、生活スタイルが変わり、それにより地域経済が、大きく変わってきていると思う。
	商店街代表者	建設業では、仕事量が少ないため、以前のような低価格入札による競争が増えている。元請け、下請けとも厳しさが増しているように思える。
	農産物直売所	道の駅が近くに出来たので、景気に関係はないが売上げが落ち、非常に厳しい。
	小売業（弁当・惣菜店）	大暑だったり大雨だったりで農作物に影響が出ている。既に価格に表れています。茨城の栗なども高値の状態が続き、収益に影響が出ると思われる。また、飲食関係の求人環境は良くなく、最低賃金の上げもあいまって、今後の取次環境が不安視される。
	小売業（燃料）	節約傾向が続いている。
	小売業（酒類）	大型店（スーパー、ドラッグ）の競争激化で、撤退するところが目立つ。
	小売業（時計）	インターネットでの購入品の直しここ数年増加している。
	レストラン	特にないですが、地方（特に県北地区）の景気の良くなることを祈りたいです。
	スナック	小さな会社がリストラをしたり、飲食店が辞めたりしているので、目に見えない不景気がじわじわ迫っているように感じます。
	中国料理店	まだまだ景気がいい話は、あまり聞きません。仕事が忙しく、給料が多かったとしても貯金に回しているようです。
	食堂	スーパーも大変でしょうが、野菜が高く、でも仕方なく4分の1に切った大根を初めて見ました。両極端。値札も見ず、カートにポンポン入れていく一方で。デパートに行くこと世の中のことが良く分かりますよ。私も30年くらい前は、月に何着も服を買っていた方ですが、今はそんな気にもなりません。
	観光型ホテル	茨城県北芸術祭が開催されるが、県外のお客様の認知度が低い。ご予約いただいたお客様へパンフレットを同封して周知を図っている。
	タクシー運転手	県北エリアで芸術祭が開催されているが、タクシー業にはあまり影響がありません。
	タクシー運転手	何回か夫婦同伴で昼食を食べに行っただけですが、レストランに入れば大方は女性の方です。日中は仕事があるので男性は少ないとも言えるが、なんと男性の少ないことか。男性は家に閉じこもって何をしていると言うのか。私は市の主催する、あるサークルに参加しているが、今では総勢20人くらいの中、私だけになってしまい黒一点状態です。もう少し男性諸氏が各方面にお出かけたいただければ景気の方も多少動きが出ると思うが、どうだろうか。
	タクシー運転手	会社の売上げが悪く、新車が導入されない。
	ドライブイン	新しく道の駅ができたことで、車の往来、お客様が循環している様子。
	ゴルフ場	シニア層の方は金額に関してシビアである。（プレー代、サービス）
	ゴルフ場	近隣ゴルフ場では、インターネット予約が減少し、地元サービス対策が求められている。お客様の喜ぶことが求められる。迅速なイベント広報がお客様から求められている。
	住宅販売会社	経済対策に期待しているが、なかなかその成果が見えてこない。
	企業	製造業（食料品）
製造業（電気機械器具）		海外メーカーとの価格競争が激化しているため、案件が受注へ繋がっても、単価の安いメーカーへ仕事が流れる。
製造業（電気機械器具）		最低賃金が10月から改定（アップ）されるが、企業にとっては負担が大きい。現状、パートタイマーの求人を出しても、ある程度の賃金の額にしないと応募がないが、最低賃金改定後は、現状より高額にしないと、応募が見込めないと思われる。人件費の増加と人材確保の困難さが、大きな問題になると思う。
製造業（化学工業）		購入物件のリース料が下がってきた。
製造業（電気機械器具）		取引先のBCP対応により、生産が他県メーカーなどに分散される傾向があり、売上高に影響することが懸念される。
製造業（精密機器）		横ばいだと思いますので、動きとしては聞いていません。しかし関西で金型関係の仕事をやめてしまった企業が多いと情報は入ってます。これから金型の仕事が流れてくるかもしれません。
金融業		不動産の取引件数が低下しているように感じる。
不動産業		良質な中古住宅の取引は好調。
雇用	求人広告	全体的に悪くはないが、ここから上がるというよりは停滞感のような感じもある。
	求人開拓員	ガソリン価格が、円高等の影響ですぐに2円程高くなった。北海道の台風被害で食品売場にも変化（例、スナック菓子メーカーの季節商品販売の延期等）。衣料品店での安売り、見切り販売が早くなっている。

## (2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	大きな動きはありませんが、消費者の低価格志向は相変わらず強く、デフレ傾向のままだと感じます。
	商店街代表者	7月に通行量調査があつて発表されたが、毎年通行量が減っている。特に、日曜日の通行量が減ったので、日曜日営業している店が少なくなった。最近、価値観の分からないお客様が増えた。
	百貨店	以前にも記載したが、高額品を購入される方も多く二極化の動きは引き続き見える。
	スーパー	為替により、円高還元セールのような企画が多く見受けられます。地域イベントは盛況。地域振興券が今年はまだ一部しか発行されていない。先の状況が不明。
	スーパー	牛井店の看板商品が豚丼になったり、ハンバーガー店は400円ランチを始めるとか、一時のインフレ感がなく、デフレモードに戻りつつあるように感じる。
	コンビニエンスストア	友人が結婚式を挙げることになりましたが、直近の式場の景気状況は参加人数からも厳しいとお話でした。
	農産物直売所	飲食（レストラン、バーベキュー）への予約問合せの電話にて、価格の問合せが増えた。
	楽器販売	顧客はこれまでのお付き合いとかほぼ関係なく、安いところを選択する傾向が顕著になってきました。勿論そうでないお客様もおりますが、弊社のような高額品でアフターケアも必要な商品でも、安さのみで通販を選択されると、本当に商売の組み立てが難しくなりますね。
	レストラン	お客様の利用金額も少しずつ減少してきている。
	割烹料理店	うちで出たアルミ缶や鉄類などは産廃業者に引取りを依頼しているのですが、その業者が、鉄の値段が下がって困るとぼやいてました。
	都市型ホテル	悪天候により農作物への被害があり、物価の上昇などが心配である。
	観光型ホテル	サービス業界の人手不足が地方経済にも影響してきた。需要があっても応じられない場合がある。
	旅行代理店	リオオリンピックでのイベントは、今後の東京オリンピックへ繋がる意味深いものであった。地域でのスポーツイベント、国体へも波及効果が期待できる。
	タクシー運転手	ニュースで「100歳以上の方が増えたので純銀製の銀杯を銀メッキの杯にする」とのこと。そうであるのであれば、議員さんの「金」パッチをメッキにして、100歳までも苦勞して生き抜いているんですもの、銀メッキでなく純銀製の銀杯を差し上げるのが本当ではないでしょうか。メッキだらけの議員さんには無理かな。老人が増えたから年金が半分になるかもしれない。
	タクシー運転手	水戸市の繁華街は山口組の抗争などがあり、一時期客足が遠のいたが、現在は少し回復傾向にあるように思える。
	タクシー会社	茨城国体開催が決定し、県内の景気が上昇することを期待する声が多くあります。特に、企業の方々は準備等の設備投資に期待をしているようで、忙しい日々が続くと言っています。しかし、高齢者等の一般利用客は先行不安から無駄をなくす努力を続け、消費を減らし貯蓄を増やすことに専念しているようです。
	レジャー施設	テレビなどで、茨城県の内容が取り上げられているように感じている。このようなことが景気にも関係してくれるものと感じている。
	ゴルフ場	プレー費用はともかく、食堂関連の利用単価が減少傾向にある。プレー後すぐに帰宅するお客様が増加している。
	ゲームセンター	キャラクター商品でも、タオルやバッグ、携帯充電機など実用性が高い物の売上げが上がっています。
	ペット美容室	当職においてですが、クオリティよりも値段の安さが強調されている気がします。
住宅販売会社	土地の動きが、若干だが良くなってきた。	
企業	製造業(食料品)	相変わらず「はれの日需要」が続き、その他のシーズンを悪い。
	製造業(食料品)	値上げしても苦しいのに、値下げしないと物が動かなくなっている。
	製造業(印刷・同関連業)	夜間専門の求人を出しているが、時給が高くても応募がない状況で大変苦慮している。
	製造業(窯業・土石製品)	たまたま納期が重なって忙しいが、見積りの引き合いは低調である。
	製造業(一般機械器具)	特にはないが、各地で雨による大変な被害がでているが、この辺はほとんど被害がなくて良かった。
	製造業(精密機械器具)	当社の業種、業態の範疇にある、某会社が最近倒産致しました。職人さんの手作りによる老舗メーカーなので、安定経営と視られていました。今、その原因を調査しています。
	建設業	地方の庶民目線から見て、生活感は徐々に減衰していくと推察されます。
	運輸業(道路貨物運送業)	相次ぐ台風上陸により農産物に被害が出ている。
	金融業	社会保障等将来への不安から特に若年層の購買欲が低下しており、個人消費が減少傾向にあるのではないかと思います。
	不動産業	投資家が増えている。
雇用	公共職業安定所	業種によって、人手不足感が強くなってきている。
	学校就業関係者	大学周辺の空き店舗に新規店が何店か出店した。便利になることは学生や地域にとっても好ましいので、頑張ってもらいたい。
	求人開拓員	気温の変動もあるせいか、食品(鮮魚、野菜)の値上がり気になります。

## (3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	3年後の茨城国体開催に向けて、行政を中心とした実行委員会が立ち上がった。今後の準備段階で多方面への波及効果に期待したい。
	スーパー	高齢者のお客様は、必要な物しか購入されない傾向にあり、買上げ点数が減少傾向にある。また、年々年金受給者の高齢者のお客様の数が増加している。そのため、売上高の減少につながっている。
	スーパー	買い物の仕方が比較的堅実な買い方が多いように見うけられる。
	コンビニエンスストア	求人募集があまり効果がなく、応募者が少なくなってきた。社員登用を求める若者が多くなってきたと思われる。
	衣料品販売店	自分の店に関しては、年金者が多いため、財布の紐が固くなっているように思われます。
	家電販売店	扶養控除引下げで家庭内の収入が増えない中、今後の景況感が良くなる兆しが見えない。
	農産物直売所	今までより多くの人が、会話の中で景況が良くないと言いだしてきている。
	農産物直売所	いろいろところで人手不足の話を聞く。
	小売業（食品）	昨年と比べ米の値段が良いとのこと。少しずつでも上がれば景況は良いのだが、やっぱり農家の収入は景況を左右すると思います。
	小売業	やはり、消費税増税が不景気の要因の一つにあると思います。今回の増税は、景気回復が十分に確認できてからにしてほしいです。
	和食レストラン	依然としてデフレ傾向は続いていると思います。
	洋食食堂	スタッフが集まらなくなっている。これからは売上げよりもスタッフの確保がテーマになると思う。8月末にある伝統の夏祭りに参加したが、毎年少しずつ人出が少なくなっていると思う。他町村とのイベントも重なり、夜店の出店も減少している。
	割烹料理店	各地で災害が起きて、苦労している方が多勢いますが、その復旧で土木関係だけ景況が良くなるのもどうかと思う。
	日本料理店	法事やお祝い事でも2000円以下のランチセットにするお客様が増えてきた。（2、3年前は3000円以上のコースがほとんどでした）
	海鮮料理店	1人ずつの使う金額の単価が上がりにくいです。
	観光型ホテル	居住地の周辺で、閉店しているお店がここ数か月で何店舗もあり、景況がやや悪くなっているのかと思われる。
	タクシー運転手	自己的立場として高齢を向かえ、業務の低下や周辺環境から、業務の維持も難しく感じている。
	タクシー運転手	新しい飲食店は増えてきている。
	ドライブイン	新米の売行きが好調です。
	ゴルフ場	単価を維持することが難しい。
理・美容店	建築業界の景況の良さを感じます。	
クリーニング店	デフレが進んでいる。安くないと客数が伸びないので、10円でもと思いつく値段を安くしている。（台風が多いので、米・野菜など収穫に影響しているかも）	
住宅販売会社	住宅ローンの金利が金融機関によっては上がり始めたため、場合によっては、住宅購入を検討している層が動き出すかもしれない。	
企業	農業関係者	消費者の野菜等の購買力は、昨年度並みに戻ってきており、野菜の価格低迷が影響しているものと思われる。
	製造業（食料品）	北海道地区で、台風通過の影響による工場施設への浸水被害が発生して、季節的に最盛期を迎えているスイートコーン缶詰生産の減少が懸念される。
	製造業（電気機械器具）	特にあまり変化がない。製造業は全般的に厳しい状況は変わっていない。
	建設業	建設業界の労働力不足と、賃金の問題はなかなか難しいと感じます。
	建設業	新築条件で国交省の規制がありまして、これから先は、エネルギーを使わない住宅、そして、ある一定の規格を満たさないと、建築確認が取得できなくなるみたいです。
	運輸業（道路貨物運送業）	運転手のなり手がいない。今後の大きな問題である。
	金融業	大型店の出店は一段落し、住宅着工に関しても活発な印象は受けず、依然として個人消費は低迷している状況であると思います。
	不動産業	土地、建物等の登記関係が、去年より25%くらい売上げが下がっているとのこと。近くの焼肉屋さんがいっつもビール一杯190円「税別」で開店から2年半くらいになりますが、今年の8月は、去年より売上げが20%くらいアップと言って喜んでいました。
	内装工事業	スーパーなどに買い物に行くと、以前はよく主婦が働いているのを目にしていたが、主婦のパートが減少し代わりに20代の男女が店内でテキパキと仕事をこなしていた。
	サービス業	自動車分野の企業群からの受注が大きく減少した。また、建機を中心とした中国市場ターゲットの企業群からの受注も低迷。東日本大震災の復興需要も緊急性を有するものは完了した。
火力発電所	好転材料がない。厳しい。	
雇用	民間職業紹介業	外国人（日本に滞在する就労可能なビザ取得者）の雇用について、積極的に進めている。
	公共職業安定所	新工場稼働に伴う求人募集があったが、全体的には生産・事業活動の状況は横ばいとの回答が多い。（求人事業所より聴取）
	学校就職関係者	ここ数年、高校生での求人が好調であるため、無理に進学しない傾向にある。

## (4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	外国人の姿、外国人労働者が増えてきているように思える。
	コンビニエンスストア	値頃感のある商品が良く売れています。
	小売業（食品・酒類）	中心部は良くなったとしても、郊外部は変わらないような気がする。
	小売業（米穀）	ガソリンスタンドで給油している人が少ないように感じます。セルフのスタンドが増えたせいかもしれませんが、車で移動するのが減っているような気がします。私も、自転車を使って配達することも増えました。
	和食食堂	客数が減っても客単価が上がっている。支出に関して二極化が見られる。
	日本料理店	外食よりも、家庭で会食をすることが多くなっているような気がします。私どもの店は、接待などで利用していただく店になっていますが、このところ、家族の誕生日、その他祝い事が多くなったようです。
	洋食食堂	近くに大型ガソリンスタンド出店、多分コンビニ等も作られるのではないかと。大型書店の駐車場にも出店が見られるので、コラボ出店が多くなるのではないかと。
	寿司店	市場に活気がない。閉店が多い。車の数が少ない。周りの店が夜6～7時になると閉めてしまう。早すぎるのではないかとと思う。
	都市型ホテル	インバウンドで需要が多くなってきているようで、日本より海外での景気が上向きか、もっとお金を落としてくれれば景気も上向きとなるか。
	タクシー運転手	ポケモンGOの影響からか、明らかに人の出が増えている。公園などに人が集まることにより、周りの飲食店が賑わっている。
	タクシー運転手	つくばにある西武が平成29年2月で撤退する。（売上げ減少）
	タクシー会社	家を新築しているのを良く見かける。
	ゴルフ場	当ゴルフ場周辺の開発、人口増は大変に喜ばしいことだが、県全体の沈滞傾向が気になるとの話があった。
	ゴルフ場	台風が迷走するような気候現象が見受けられた。過去も半世紀前に1度あったようなことだが、予想しづらい天気というのはすべての日程を狂わせる。当然景気にも影響してくる。
	企業	工場見学案内
レジャー施設		8月のビックレースの売上げが目標額に5%届かないなど、競輪業界全体で売上げが減少している。当競輪場に限れば、企画レースなどは評判が良く、2月にトップレベルのレースを開催するため、今後の売上げは増加していくと見られる。
理・美容店		最近の流行で刈り上げが増え、回転率が上がるかと思ったが実際はそうでもない感じです。むしろ子供とか減ったなと思います。
住宅販売会社		土地が大きく動いているが、その分、競争も激しくなっている。
農業関係者		水田の病、虫害の防除、空中散布は定期的に行い、継続的に実施することですが利用者が減少しています。コストの削減だと思えます。
製造業（家具・装備品）		つくば市の西武が閉店とのこと。友人のそば屋さんが店じまい。あまり良い話は聞きません。小さな店舗の先行きは暗いようです。
製造業（窯業・土石製品）		日銀などが出している政策は、サプライズや受け狙いに見えてしまい、しっかりと地に足を付けた政策にはとても思えません。株が上がって消費に回るなどはごく一部の方にはか恩恵は受けられないし、中国の爆買いなどは、一時の線香花火みたいなものでしかありません。
製造業（窯業・土石製品）		電力の自由化による電力会社等の売込みが多い。このような規制の撤廃は、はたして景気の回復に寄与するのだろうか。
製造業（非鉄金属）		一時期、人手不足感があったが、人員確保が改善されつつある。
建設業		私も足を運んで多くの友人、知人、市・県有力者と会う機会を作り、交流を図っていますが、どなたも仕事、ビジネスの件のみで、景気には触れず、話題は家庭内の子どもの件、学校の様子がほとんどです。また、これまで全然手紙、年賀状、ハガキなどのやり取りをしたことがない人から珍しく手紙などがきて、月に2～3人はおります。返事は出しておりませんが、なんだろうと思っています。
建設業	近所の製造ラインの電気関係をしている会社だが、ここ3か月でお祭りのため3日休んだ以外は全然休んでいないと言う。利益がどうのこうのは分からないが、明らかに近隣の会社は景気が良くなっていると思う。当社はあくまでもやや良くなっているだけだ。	
建設業	ご近所の方から住宅改装の依頼もあり、動きが見られている。	
金融業	飲食店に行っても、あまり賑わいを感じられない。タクシーの稼働率も悪く、景気好転の印象はない。	
不動産業	マイナス金利の影響で、個人向け住宅資金融資の金利もかなり下がってきている。将来的には不動産売買の部分で期待出来る場所あり。	
雇用	公共職業安定所	大規模な雇用調整に伴う大量離職の発生や、新規出店等の情報はないことから、景気の動向に関しては変化は見られなかった。
	学校就職関係者	EIからイギリスが脱退するかもしれないという話が出た時に、製造業では求人見送りにより就職が厳しくなるのではないかと懸念がされた。今のところ影響はないように見える。
	求人開拓員	女性は事務でなければ嫌だというように、求職者が企業を選ぶようになった。

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	「春や秋の中間の季節が年々なくなっている。夏用・冬用だけあれば不自由しない」とのこと。
	商店街代表者	惣菜・弁当類販売を生業としております。このところの野菜の高騰には頭を痛めております。店頭ではタイムサービスでお安くなると従来よりお客様が多いです。
	スーパー	この地区は、外国人就労者がとても多い地域で、通常時間帯は10%から15%が外国人のお客様ですが、夕方は30%くらいが外国人のお客様です。中小企業で働いている方が多い地域ですので、中小企業の景気がすぐに売上げにでます。お客様の話を伺うと年度後半はやや明るい話が多いようです。
	スーパー	食品スーパーの特売価格が安くなっている（無理をしている）ように感じられる。
	専門スーパー	店内において、スマホで最安値を調べ価格比較をしながら買い物する客がとても多くなってきた。
	製茶販売	若い人たちの未来に希望が持てない状態。少子化を止めるにも、この低賃金が続いては、子供一人を育てるのがやっとなという声を聞きました。
	和食食堂	台風による北海道の農業被害で一部の野菜が高くなっているのが長続きしないか心配です。
	日本料理店	当地方は比較的自然災害もなくのんびり暮らしているので、あまり変わった動きは見られない。
	都市型ホテル	労働者も消費者も近隣都市に流れつつあり、ますます田舎の活気が失われているように感じる。消費者が減少すれば、新たに雇用することも難しい。ただ、近隣都市でも範囲を広くとりこまないと厳しいというのが現状なのだろうと察する。
	旅行会社	買い控えが目立つ。
	旅行代理店	商店街がシャッター街になりつつあります。小売店が活性化出来るような政策が必要です。老人や婦人は自動車に乗れないので、近くでお買物がしたいわけだが、バスも走っていないので出かけられないし、交流も取れないように思います。安値で移動出来るシティバス（巡回）が必要かと思う。
	タクシー運転手	地域の人口減が大きく関係している。
	タクシー運転手	商店街の通りも人通りが少なく個人の店には人が見られない。
	ドライブイン	以前にも増して衝動買いをするお客様はいなくなり、財布の紐は増々固く閉じられている。
	ゴルフ場	圏央道の工事に伴う、街の活性化（研究学園周辺）
	ゲームセンター	競合他社も安売りが加速しており、デフレに戻っているように思われる。
	レジャー施設	お客様1人あたりの消費する単価が、以前と比べても下がっているように思えます。同時に常連のお客様が来館する頻度も、少しずつではありますが減少傾向に思えます。
	農業関係者	4年後に日本開催される東京オリンピックの影響（経済効果）がどこまで出てくるかが気になっている。
	企業	製造業（食料品）
製造業（印刷・同関連業）		中小零細企業にとって、消費税アップは死活問題なのに、一部政治家の皆さんは自分達、政治改革（人員削減・給与削減等々）もせず、また地方のシャッター通りの厳しさも分かっていない。政治家は、東北の、そして九州・熊本の災害地をはじめ、地方も良く勉強して、日本国民の「道しるべ」を示してもらいたい。私利私欲では景気も良くならない。
製造業（印刷・同関連業）		地域の活力低下に歯止めが利かない感じがある。特に若手層の流出はもちろん、壮年層も下向きの傾向が増え強くなっているように感じる。活力と向上心そのものが縮小している感じが強い。10年後はと考えると。
製造業（窯業・土石製品）		良くなりそうな様子と逆の様子が混在しているが、前向きな気持ちの人が多くなっている感じはする。
製造業（窯業・土石製品）		写真館さんの40周年記念パーティに招待をいただいたので、出席した時の感想ですが、町の写真屋さんのイメージは完璧になく、創業から40年で夫婦2人からでの出発が、今では社員・パートさん合わせて約150名まで規模を拡大し、「売上げ100億円企業を目指す」と我々招待客の前で社長が声高らかに宣言しておりました。やり方いかんで発展の道はあるのだ。うまくいかないのは、経営者たる自分のやり方が当を得ないところがあるのだとの思いで家路に着きました。
製造業（一般機械器具）		板金の仕事が以前より増加している。
建設業		どの業種も人手が足りない様子。忙しいかどうかは定かではなく、若い人の人数が少ないためだと思えます。
金融業		土木建築業や電機設備業等の一部の企業では景気回復傾向にあるも、人手不足であり受注をこなせきれず、外注にまわすところも見られる。業績回復している企業の多くは、都内の大手企業との取引先企業であり、地元密着した企業先での業績回復は見られない。
不動産業		高額賃貸物件の需要が増加傾向。
サービス業（コンサルタント業）		大手自動車メーカーの工場建設が急ピッチで進められています。それに関連して、関係する企業（物流関係）の物流センターのようなものの建設が始まるような動きがありますが、これらの工事でも地元の企業が工事をするのではないようです。これらが完成し稼働するころには地元採用等で若干の賑わいが起きることを期待して注視しています。
求人広告		いつもお客さんが沢山入っていた人気の飲食店も、集客に苦戦している話が出ています。また、飲食店を中心に売上げに苦戦しているために、そこと取引のある業者さんも景気の悪い話をしていました。夏は売上げに苦戦している企業が多いように思える。
雇用	公共職業安定所	障害者就職面接会への事業所の参加申し込みは、前回より増加した。
	学校就職関係者	野菜の高騰。